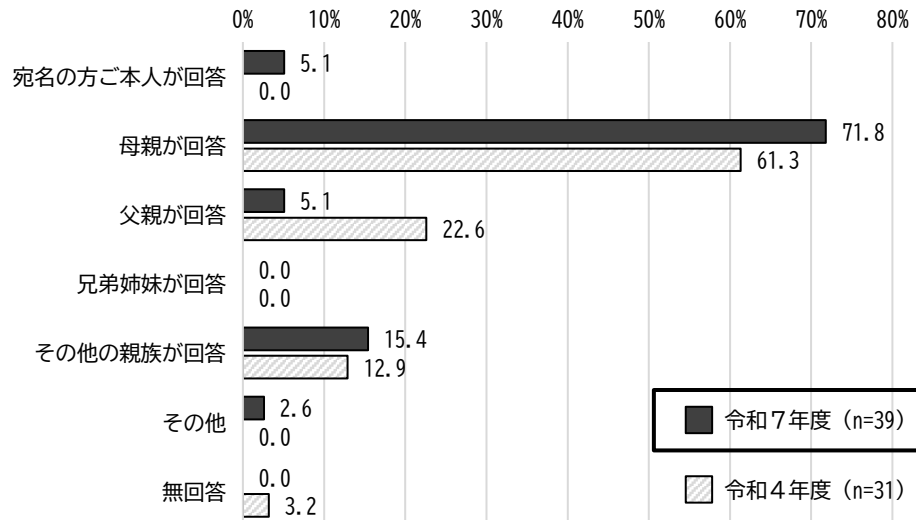


E 医療的ケア児・者調査

1. 回答者について

問1 この調査票に回答するのは誰ですか。宛名の方から見た関係でお答えください。
(単一回答)

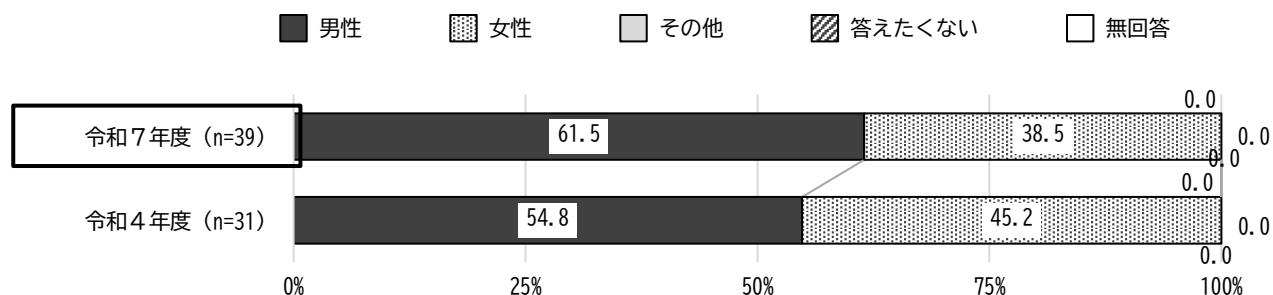
回答者について前回調査から「母親」が前回調査より大幅に増加し約7割となる一方、「父親」が前回調査より大幅に減少し約0.5割となっています。



2. ご自身のことや生活について

問2 宛名の方の性別をご回答ください。(単一回答)

性別について「男性」が前回調査から増加し約6割、「女性」が減少し約4割となっています。



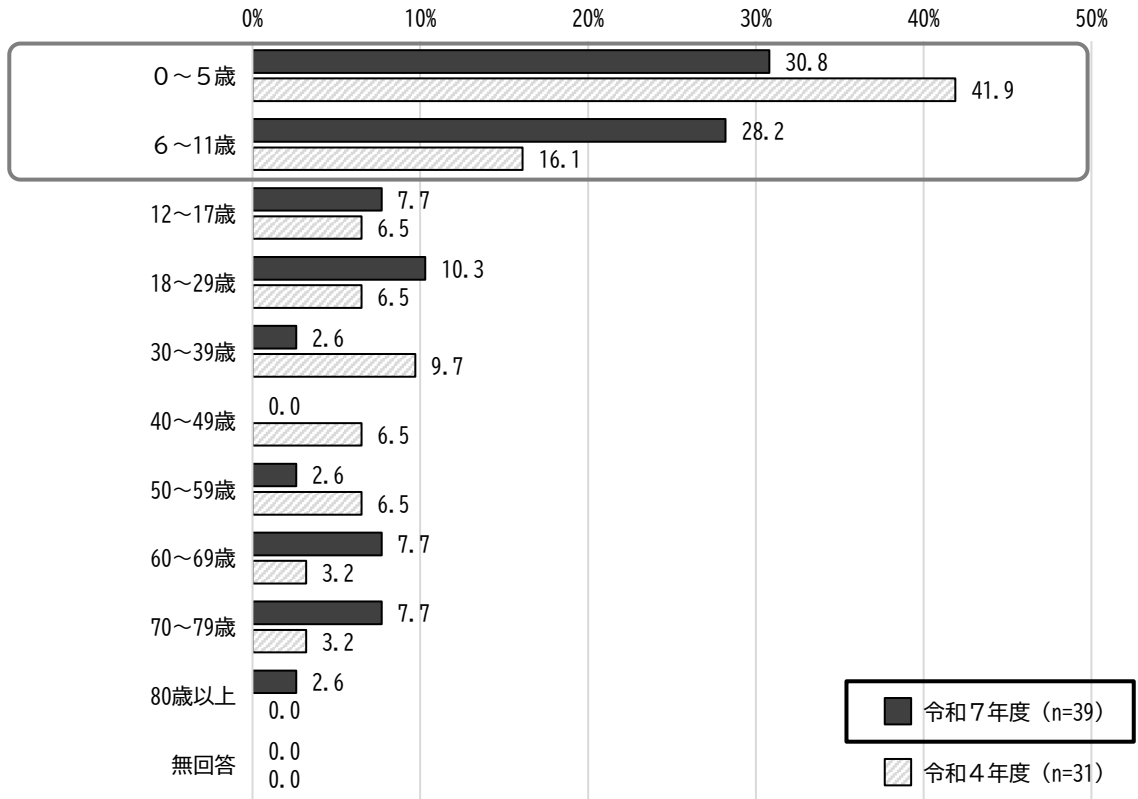
■ 年齢

(単位：%)

		回答者数	男性	女性	答えたくない
全体		39	61.5	38.5	0.0
年齢	0～5歳	12	58.3	41.7	0.0
	6～11歳	11	72.7	27.3	0.0
	12～17歳	3	66.7	33.3	0.0
	18～29歳	4	50.0	50.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	50.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	42.9	0.0

問3 宛名の方の年齢をご回答ください。(9月1日現在、単一回答)

年齢について「0～5歳」が前回調査より大幅に減少し約3割となる一方、「6～11歳」が大幅に増加し約3割となっています。



■ 性別

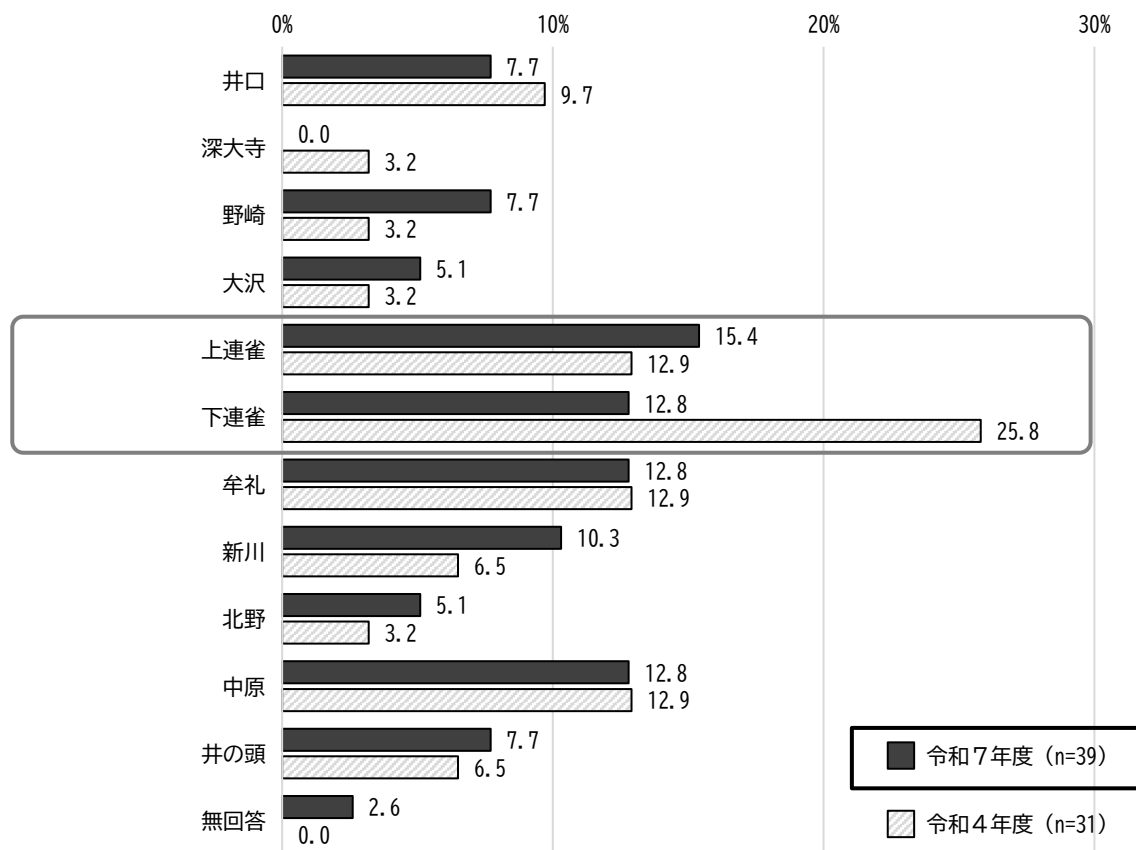
(単位：%)

		回答者数	0～5歳	6～11歳	12～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
全体		39	30.8	28.2	7.7	10.3	2.6	0.0	2.6	7.7	7.7	2.6
性別	男性	24	29.2	33.3	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0	8.3	4.2	4.2
	女性	15	33.3	20.0	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0

E 医療的ケア児・者調査 2.ご自身のことや生活について

問4 宛名の方が住んでいる地域はどこですか。(単一回答)

住んでいる地域について「上連雀」が前回調査から微増し1割を超える一方、「下連雀」が大幅に減少し同じく1割を超える程度となっています。



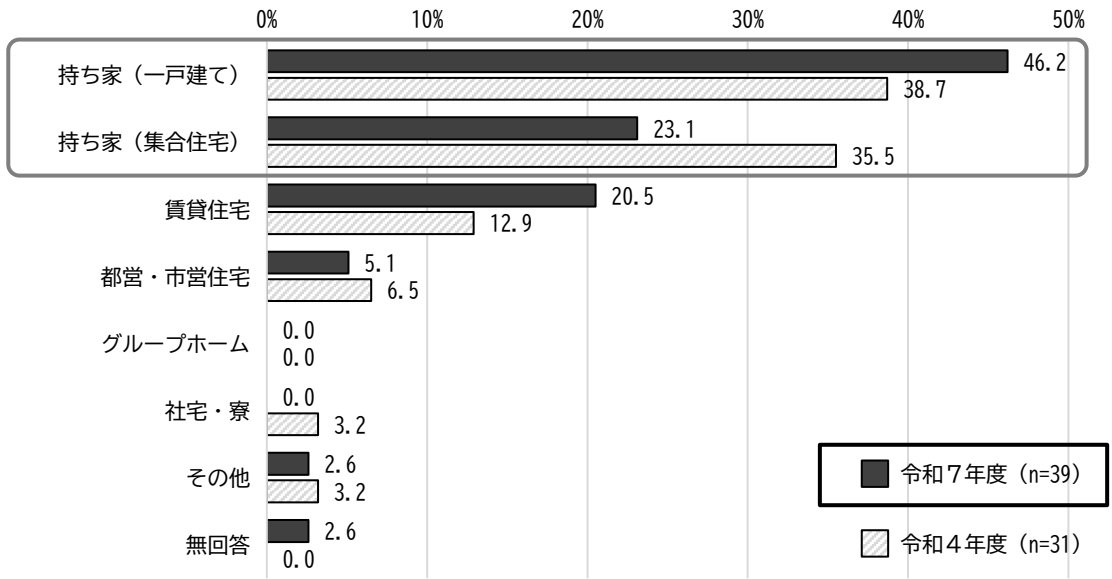
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	井口	深大寺	野崎	大沢	上連雀	下連雀	牟礼	新川	北野	中原	井の頭
全体		39	7.7	0.0	7.7	5.1	15.4	12.8	12.8	10.3	5.1	12.8	7.7
性別	男性	24	8.3	0.0	12.5	4.2	12.5	12.5	8.3	8.3	4.2	16.7	12.5
	女性	15	6.7	0.0	0.0	6.7	20.0	13.3	20.0	13.3	6.7	6.7	0.0
年齢	0～5歳	12	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	33.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
	6～11歳	11	18.2	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	27.3	9.1
	12～17歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	18～29歳	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0
	30～59歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 宛名の方の現在の住居は、どれですか。(単一回答)

現在の住居について「持ち家（一戸建て）」が前回調査より増加し4割を超える一方、「持ち家（集合住宅）」が大幅に減少し2割を超える程度となっています。



■ 性別・年齢

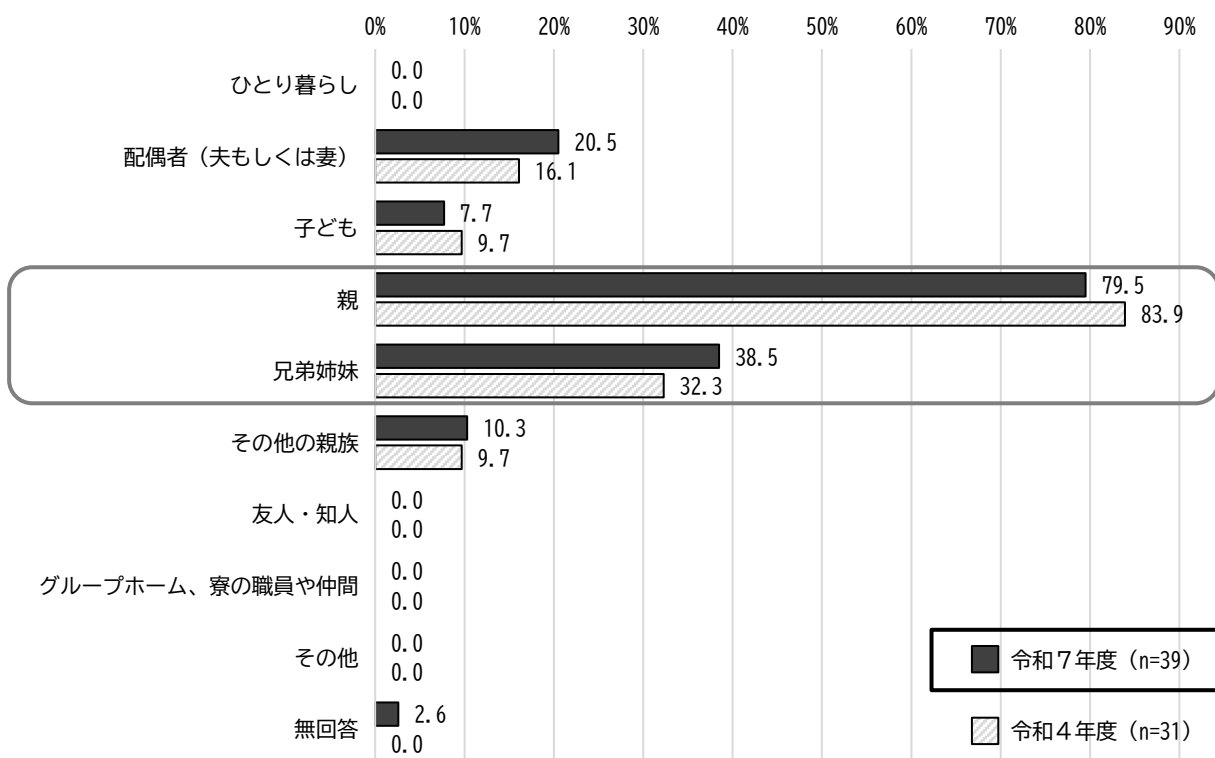
(単位：%)

		回答者数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	賃貸住宅	都営・市営住宅	グループホーム	社宅・寮
全体		39	46.2	23.1	20.5	5.1	0.0	0.0
性別	男性	24	62.5	16.7	12.5	4.2	0.0	0.0
	女性	15	20.0	33.3	33.3	6.7	0.0	0.0
年齢	0～5歳	12	33.3	16.7	41.7	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	11	54.5	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0
	12～17歳	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0

E 医療的ケア児・者調査 2.ご自身のことや生活について

問6 宛名の方が一緒に暮らしているのは誰ですか。(複数回答)

一緒に暮らしている人について「親」が前回調査より減少し約8割となる一方、「兄弟姉妹」が増加し約4割となっています。



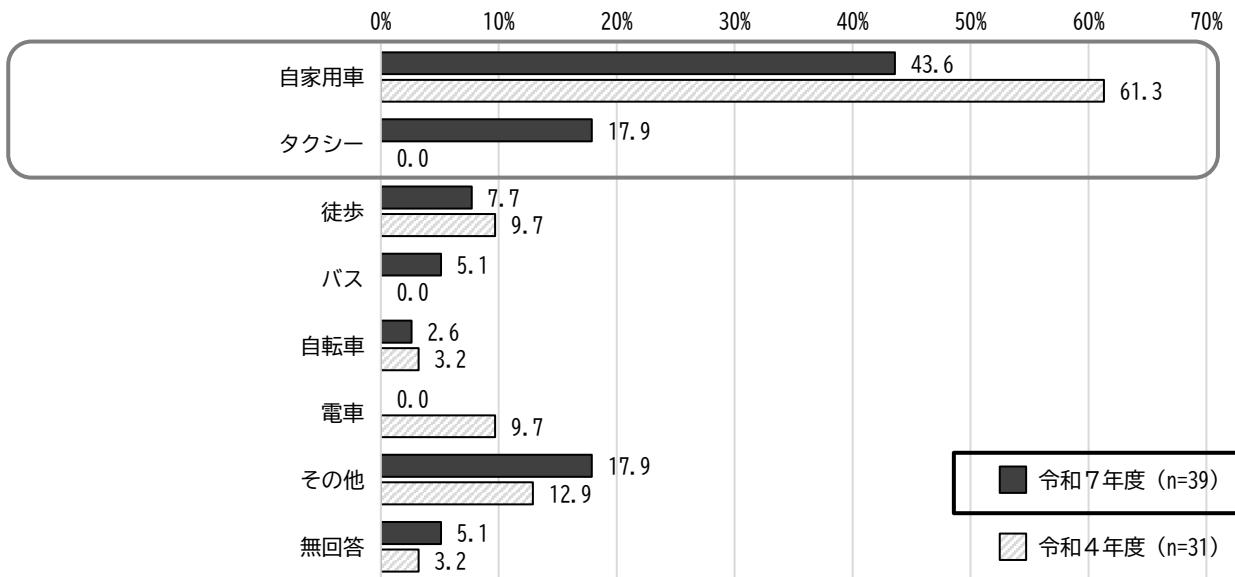
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	ひとり暮らし	配偶者 (夫もしくは妻)	子ども	親	兄弟姉妹	その他の親族	友人・知人	グループホーム、寮の職員や仲間
全体		39	0.0	20.5	7.7	79.5	38.5	10.3	0.0	0.0
性別	男性	24	0.0	20.8	8.3	83.3	37.5	8.3	0.0	0.0
	女性	15	0.0	20.0	6.7	73.3	40.0	13.3	0.0	0.0
年齢	0～5歳	12	0.0	8.3	0.0	91.7	33.3	8.3	0.0	0.0
	6～11歳	11	0.0	0.0	0.0	100.0	63.6	18.2	0.0	0.0
	12～17歳	3	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	0.0	85.7	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

問7 日常生活圏での主な移動手段は何ですか。(単一回答)

主な移動手段について「自家用車」が前回調査より大幅に減少し4割を超える程度となる一方、「タクシー」が大幅に増加し約2割となっています。



「その他」・・・介護タクシー、など

■ 性別・年齢

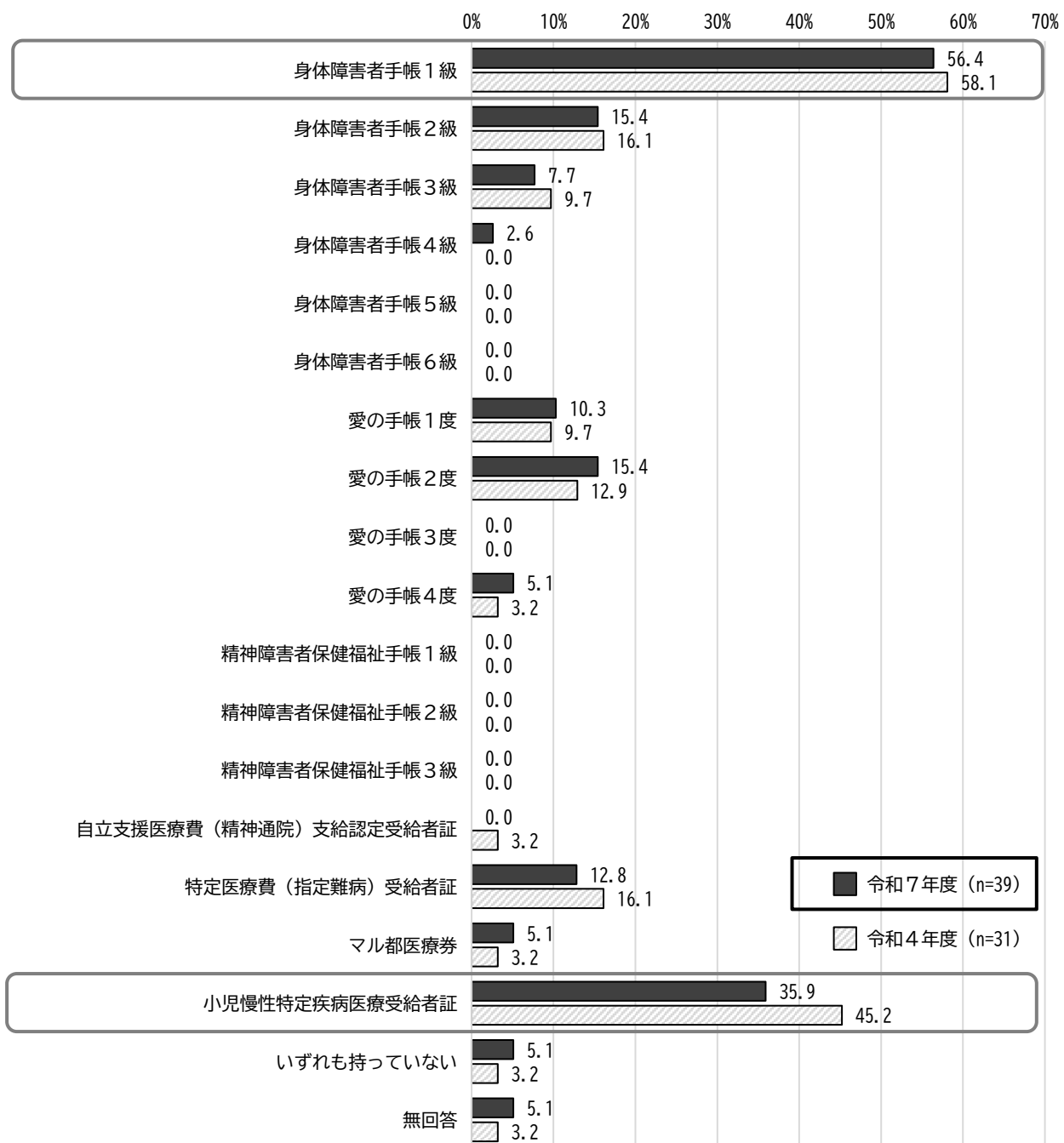
(単位：%)

		回答者数	自家用車	タクシー	徒歩	バス	自転車	電車
全体		39	43.6	17.9	7.7	5.1	2.6	0.0
性別	男性	24	41.7	29.2	4.2	8.3	0.0	0.0
	女性	15	46.7	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0
年齢	0～5歳	12	33.3	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0
	6～11歳	11	63.6	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0
	12～17歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

3. 障がいの状況について

問8 宛名の方がお持ちの手帳等はどれですか。(複数回答)

所持している手帳について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「身体障害者手帳1級」が最も多く5割を超えています。また、「小児慢性特定疾病医療受給者証」を所持している人が減少しているものの3割を超えています。



E 医療的ケア児・者調査 3. 障がいの状況について

■ 性別・年齢

(単位：%)

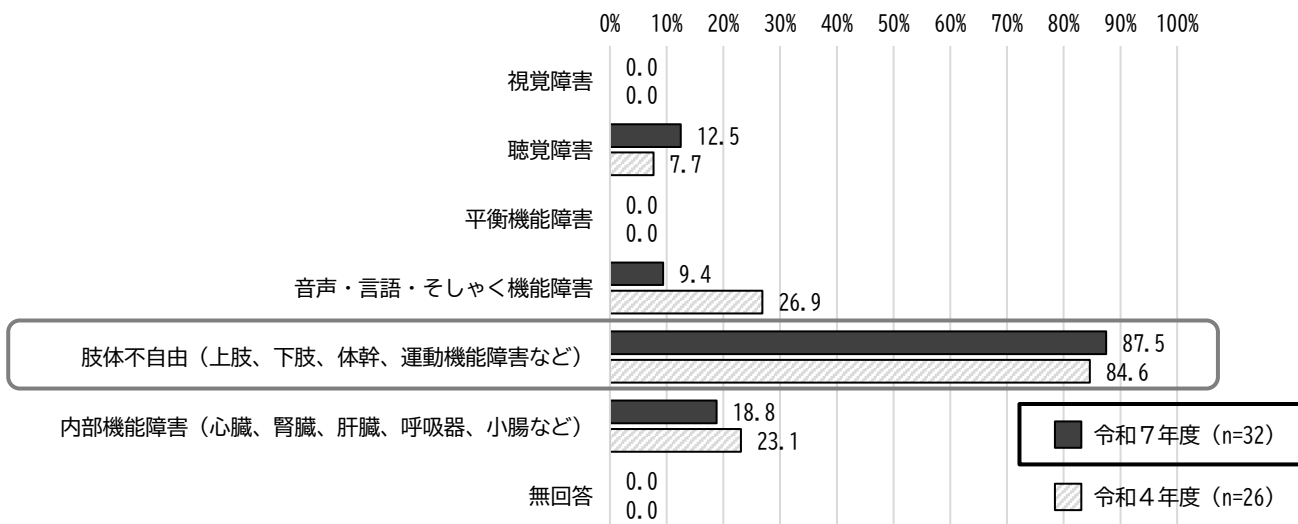
		回答者数	身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級	身体障害者手帳4級	身体障害者手帳5級	身体障害者手帳6級	愛の手帳1度	愛の手帳2度	愛の手帳3度	愛の手帳4度	精神障害者保健福祉手帳1級	精神障害者保健福祉手帳2級	精神障害者保健福祉手帳3級	自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証	特定医療費(指定難病)受給者証	マル都医療券	小児慢性特定疾病医療受給者証	いずれも持っていない
全体		39	56.4	15.4	7.7	2.6	0.0	0.0	10.3	15.4	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	5.1	35.9	5.1
性別	男性	24	62.5	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	41.7	8.3
	女性	15	46.7	26.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	26.7	0.0
年齢	0～5歳	12	50.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	58.3	16.7
	6～11歳	11	54.5	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6	0.0
	12～17歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	00.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0

E 医療的ケア児・者調査 3. 障がいの状況について

※身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

問8-1 手帳に記載されている障がいは何ですか。(複数回答)

身体障害者手帳を所持している方の障がいについて「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害など）」が最も多く約9割となっています。また、「聴覚障害」が前回調査より増加し1割を超えています。



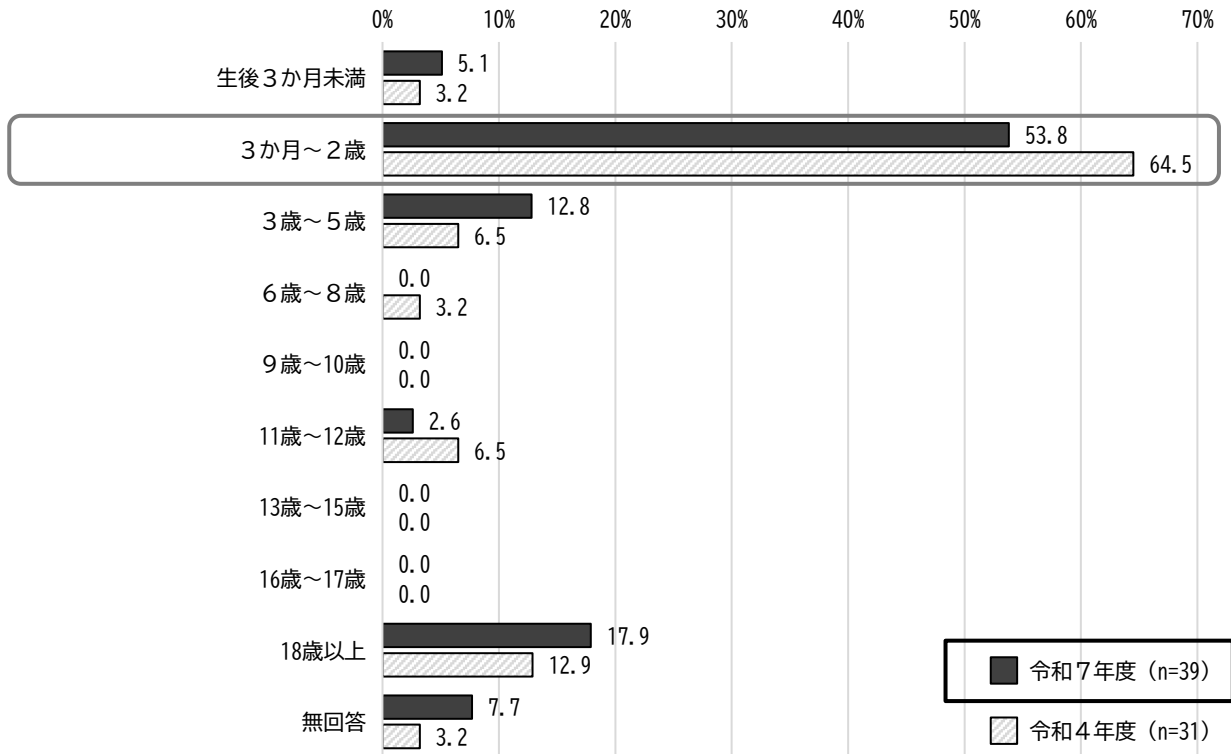
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由 (上肢、下肢、体幹、運動機能障害など)	内部機能障害 (心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、小腸など)
全体		32	0.0	12.5	0.0	9.4	87.5	18.8
性別	男性	19	0.0	10.5	0.0	10.5	89.5	21.1
	女性	13	0.0	15.4	0.0	7.7	84.6	15.4
年齢	0～5歳	8	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	50.0
	6～11歳	9	0.0	11.1	0.0	33.3	66.7	0.0
	12～17歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3
	18～29歳	4	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	60歳以上	6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	16.7

問9 宛名の方が、はじめて手帳を取得したのは、いつですか。(単一回答)

はじめて手帳を取得した年齢について「3か月～2歳」が前回調査より大幅に減少しているものの5割を超えています。



性別・年齢

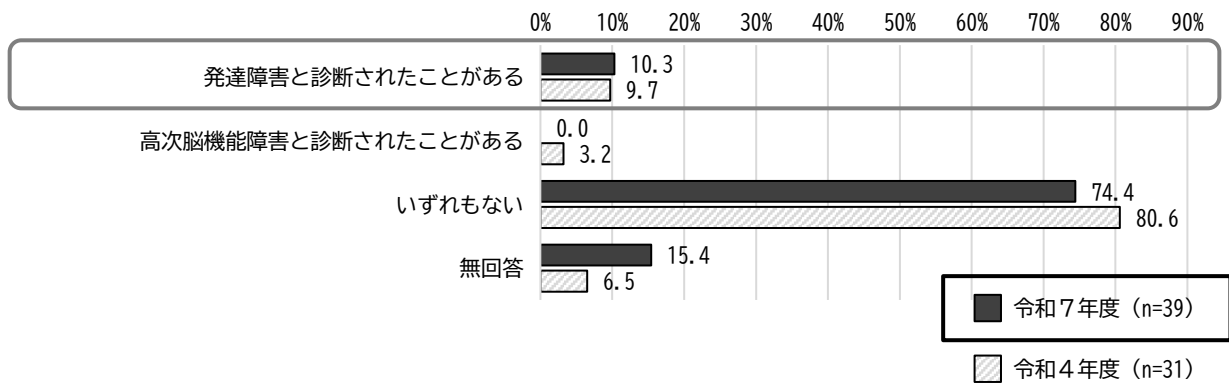
(単位：%)

		回答者数	生後3か月未満	3か月～2歳	3歳～5歳	6歳～8歳	9歳～10歳	11歳～12歳	13歳～15歳	16歳～17歳	18歳以上
全体		39	5.1	53.8	12.8	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	17.9
性別	男性	24	0.0	58.3	12.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	16.7
	女性	15	13.3	46.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年齢	0～5歳	12	8.3	58.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	11	0.0	72.7	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～17歳	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	60歳以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7

E 医療的ケア児・者調査 3. 障がいの状況について

問10 宛名の方は、発達障害、高次脳機能障害と診断されたことがありますか。
(複数回答)

発達障害や高次脳機能障害と診断されたことがある人について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「発達障害」が約1割となっています。



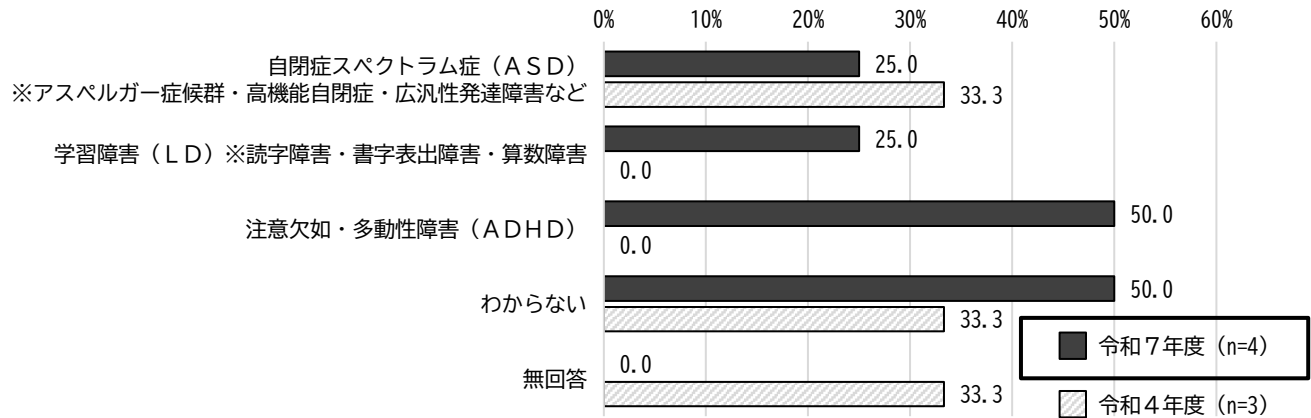
■ 性別・年齢 (単位：%)

		回答者数	発達障害と診断されたことがある	高次脳機能障害と診断されたことがある	いずれもない
全体		39	10.3	0.0	74.4
性別	男性	24	12.5	0.0	75.0
	女性	15	6.7	0.0	73.3
年齢	0～5歳	12	0.0	0.0	91.7
	6～11歳	11	27.3	0.0	63.6
	12～17歳	3	33.3	0.0	66.7
	18～29歳	4	0.0	0.0	100.0
	30～59歳	2	0.0	0.0	100.0
	60歳以上	7	0.0	0.0	42.9

※「発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問10-1 診断されたのはどれですか。(複数回答)

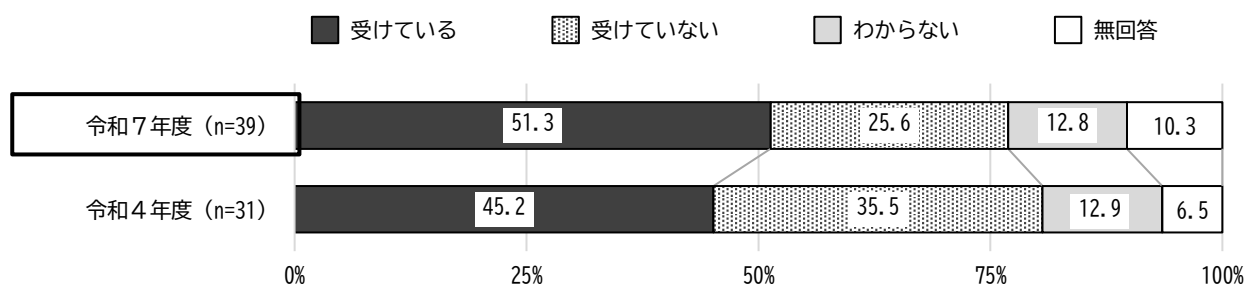
発達障害と診断されたことがある人の診断名について「注意欠如・多動性障害」が5割、「自閉症スペクトラム症」「学習障害」が2割を超えています。



E 医療的ケア児・者調査 3. 障がいの状況について

問11 宛名の方は、重症心身障害児・者の認定を受けていますか。(単一回答)

重症心身障害児・者の認定を「受けている」人が前回調査より増加し約5割となっています。

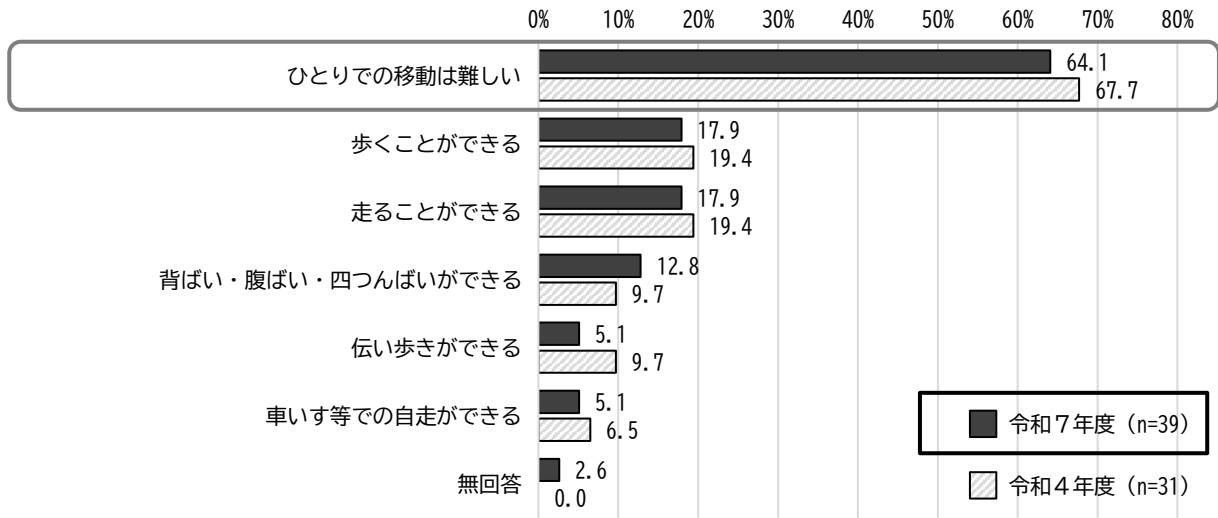


■ 性別・年齢 (単位：%)

		回答者数	受けている	受けていない	わからない
全体		39	51.3	25.6	12.8
性別	男性	24	54.2	29.2	4.2
	女性	15	46.7	20.0	26.7
年齢	0～5歳	12	58.3	16.7	25.0
	6～11歳	11	45.5	45.5	9.1
	12～17歳	3	66.7	0.0	0.0
	18～29歳	4	100.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	0.0	50.0
	60歳以上	7	14.3	42.9	0.0

問12 宛名の方の移動の状況はどれですか。(複数回答)

移動の状況について「ひとりでの移動は難しい」が前回調査から減少しているものの6割を超えています。



■ 性別・年齢

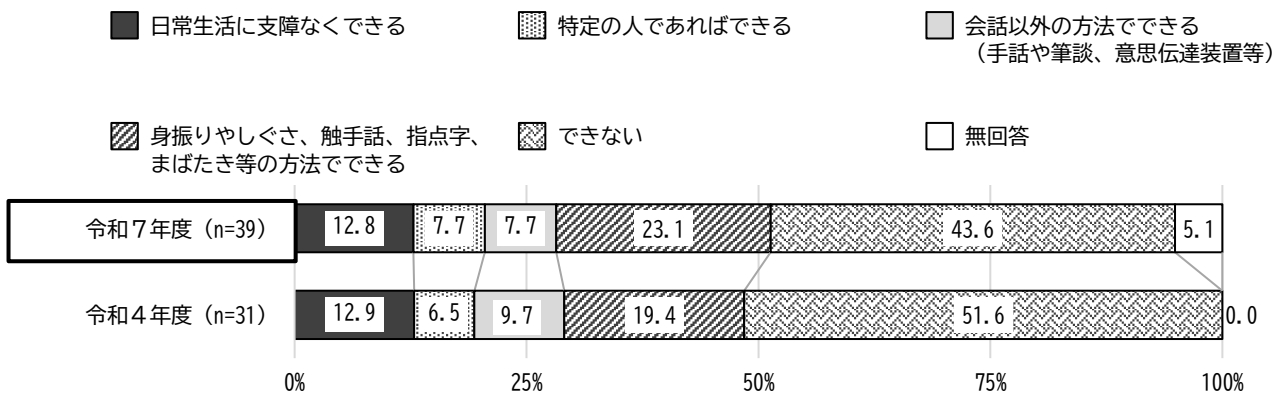
(単位：%)

		回答者数	ひとりでの移動は難しい	歩くことができる	走ることができる	背ばい・腹ばい・四つんばいができる	伝い歩きができる	車いす等での自走ができる
全体		39	64.1	17.9	17.9	12.8	5.1	5.1
性別	男性	24	62.5	29.2	20.8	8.3	8.3	4.2
	女性	15	66.7	0.0	13.3	20.0	0.0	6.7
年齢	0～5歳	12	58.3	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0
	6～11歳	11	36.4	45.5	45.5	9.1	0.0	18.2
	12～17歳	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	18～29歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

E 医療的ケア児・者調査 3. 障がいの状況について

問13 宛名の方のコミュニケーションの状況はどれですか。(単一回答)

コミュニケーションの状況について「できない」人が4割を超え、「身振りやしぐさ、触手話、指
点字、まばたき等の方法でできる」人が2割を超えています。

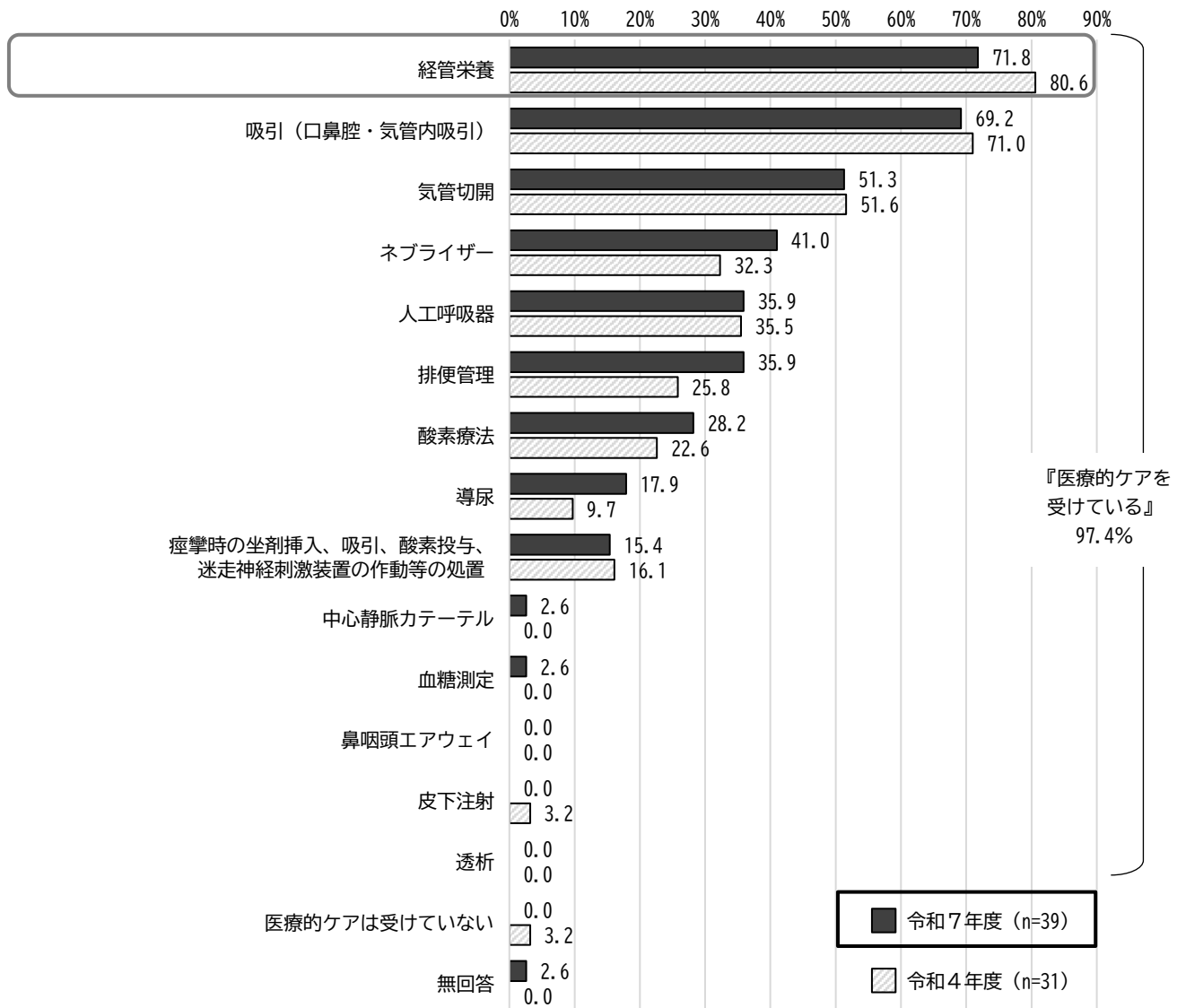


性別・年齢 (単位: %)

		回答者数	日常生活に支障なくできる	特定の人であればできる	会話以外の方法でできる (手話や筆談、意思伝達装置等)	身振りやしぐさ、触手話、指点字、まばたき等の方法でできる	できない
全体		39	12.8	7.7	7.7	23.1	43.6
性別	男性	24	12.5	8.3	12.5	12.5	50.0
	女性	15	13.3	6.7	0.0	40.0	33.3
年齢	0~5歳	12	16.7	0.0	0.0	25.0	50.0
	6~11歳	11	18.2	27.3	18.2	9.1	27.3
	12~17歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	18~29歳	4	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	30~59歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	60歳以上	7	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6

問14 宛名の方は、現在、次の医療的ケアを受けていますか。(複数回答)

受けている医療的ケアについて「経管栄養」が減少しているものの約7割となっており、「吸引(口鼻腔・気管内吸引)」も微減しているものの同じく約7割となっています。



『医療的ケアを受けている』 = 100.0 - 「医療的ケアは受けていない」 - 「無回答」

E 医療的ケア児・者調査 3. 障がいの状況について

■ 性別・年齢

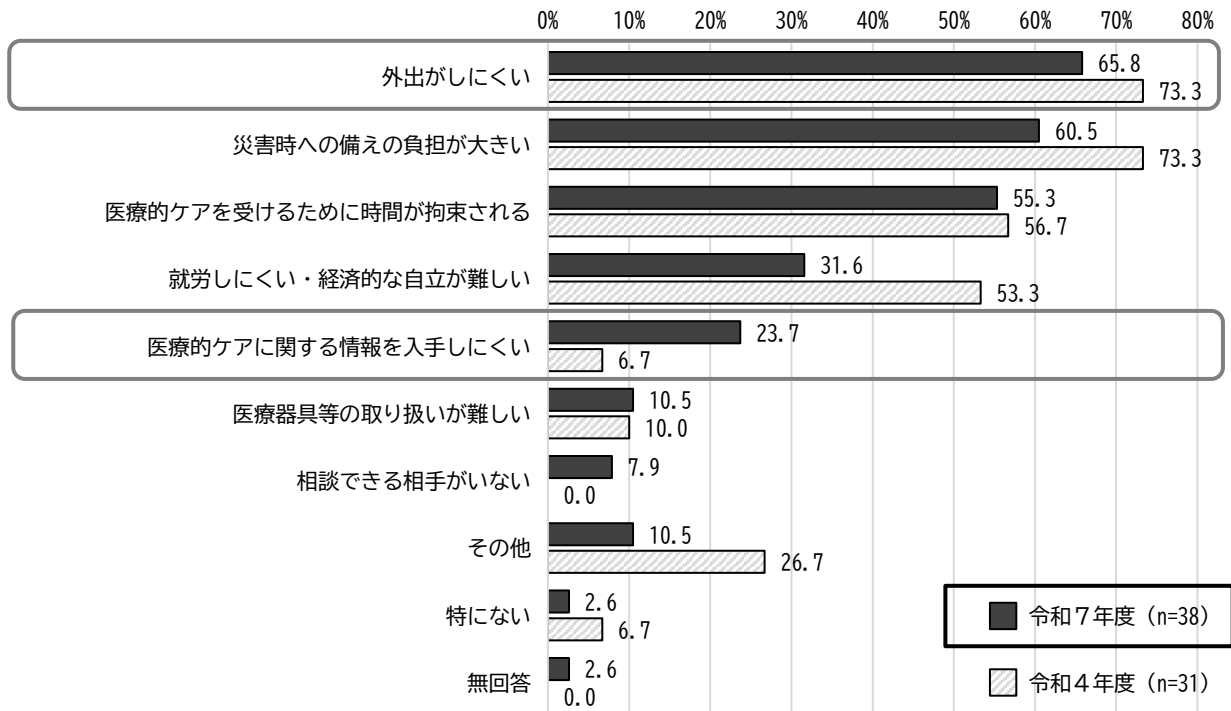
(単位：%)

		回答者数	経管栄養	吸引(口鼻腔・気管内吸引)	気管切開	ネブライザー	人工呼吸器	排便管理	酸素療法	導尿	痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置	中心静脈カテーテル	血糖測定	鼻咽喉工アウエイ	皮下注射	透析	医療的ケアは受けていない
全体		39	71.8	69.2	51.3	41.0	35.9	35.9	28.2	17.9	15.4	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	24	75.0	66.7	58.3	41.7	45.8	41.7	33.3	20.8	16.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	15	66.7	73.3	40.0	40.0	20.0	26.7	20.0	13.3	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	0～5歳	12	58.3	50.0	33.3	41.7	33.3	8.3	33.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	11	63.6	72.7	63.6	45.5	36.4	36.4	36.4	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～17歳	3	100.0	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	100.0	100.0	50.0	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	71.4	71.4	57.1	14.3	42.9	71.4	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

※医療的ケアを受けている方にお聞きします。

問14-1 医療的ケアを受けていることで、困っていることは何ですか。(複数回答)

医療的ケアを受けていることで、困っていることについて「外出がしにくい」が前回調査から減少しているものの6割を超える一方、「医療的ケアに関する情報を入手しにくい」が大幅に増加し2割を超えています。



■ 性別・年齢

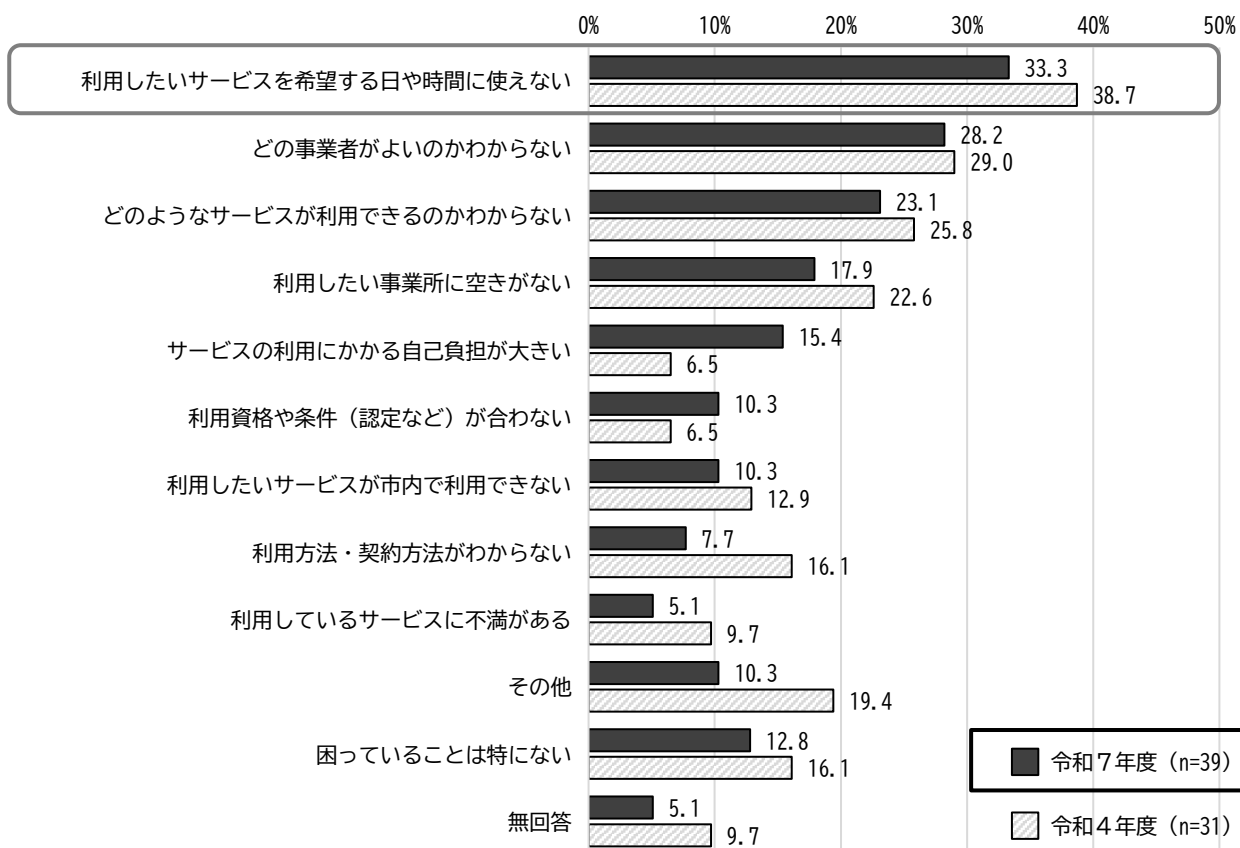
(単位：%)

		回答者数	外出がしにくい	災害時への備えの負担が大きい	医療的ケアを受けるために時間が拘束される	就労しにくい・経済的な自立が難しい	医療的ケアに関する情報を入手しにくい	医療器具等の取り扱いが難しい	相談できる相手がいない	特になし
全体		38	65.8	60.5	55.3	31.6	23.7	10.5	7.9	2.6
性別	男性	24	75.0	54.2	62.5	33.3	16.7	16.7	8.3	4.2
	女性	14	50.0	71.4	42.9	28.6	35.7	0.0	7.1	0.0
年齢	0～5歳	12	66.7	58.3	41.7	25.0	25.0	0.0	16.7	0.0
	6～11歳	11	54.5	63.6	63.6	54.5	27.3	18.2	9.1	9.1
	12～17歳	3	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	75.0	100.0	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	6	66.7	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0

4. 障がい福祉サービスの利用について

問15 障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。
(複数回答)

障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることについて、「利用したいサービスを希望する日や時間に使えない」が前回調査より減少しているものの3割を超えています。



性別・年齢

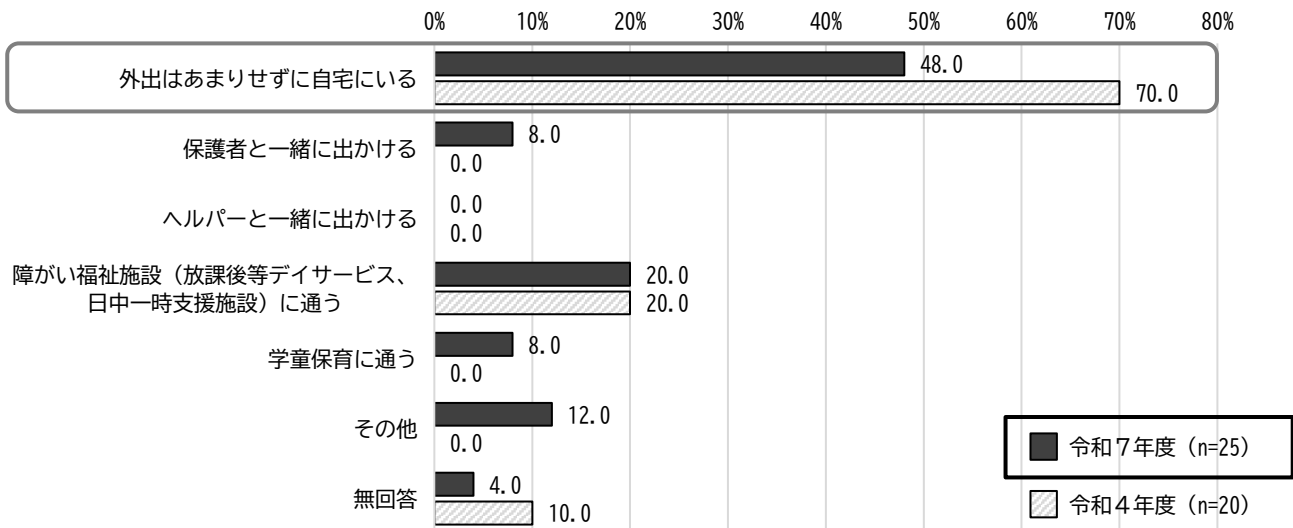
(単位：%)

		回答者数	利用したいサービスを希望する日や時間に使えない	どの事業者がよいかわからない	どのようなサービスが利用できるかわからない	利用したい事業所に空きがない	サービスの利用にかかる自己負担が大きい	利用資格や条件(認定など)が合わない	利用したいサービスが市内で利用できない	利用方法・契約方法がわからない	利用しているサービスに不満がある	困っていることは特にない
全体		39	33.3	28.2	23.1	17.9	15.4	10.3	10.3	7.7	5.1	12.8
性別	男性	24	25.0	29.2	20.8	20.8	16.7	8.3	12.5	4.2	8.3	12.5
	女性	15	46.7	26.7	26.7	13.3	13.3	13.3	6.7	13.3	0.0	13.3
年齢	0～5歳	12	41.7	16.7	25.0	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
	6～11歳	11	18.2	27.3	18.2	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1
	12～17歳	3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	50.0	100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6

5. 日中の過ごし方（教育や社会活動など）について

※医療的ケアを必要とするお子さん（18歳未満の方）の保護者にお聞きします。
 問16 お子さん（宛名の方）は、放課後などは主にどのように過ごしていますか。
 （単一回答）

放課後などに過ごす場所について、「外出はあまりせずに自宅にいる」人が前回調査より大幅に減少し約5割となっています。



性別・年齢

(単位：%)

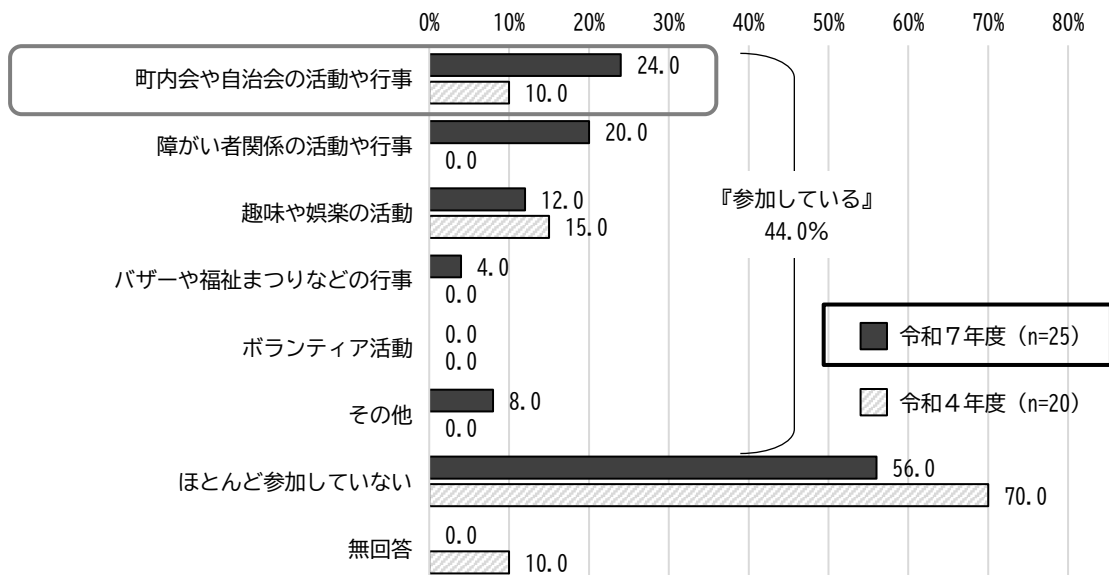
		回答者数	外出はあまりせずに自宅にいる	保護者と一緒に出かける	ヘルパーと一緒に外に出かける	障がい福祉施設（放課後等デイサービス、日中一時支援施設）に通う	学童保育に通う
全体		25	48.0	8.0	0.0	20.0	8.0
性別	男性	16	43.8	6.3	0.0	25.0	6.3
	女性	9	55.6	11.1	0.0	11.1	11.1
年齢	0～5歳	11	54.5	9.1	0.0	9.1	0.0
	6～11歳	11	54.5	9.1	0.0	18.2	18.2
	12～17歳	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

E 医療的ケア児・者調査 5. 日中の過ごし方(教育や社会活動など)について

※医療的ケアを必要とするお子さん(18歳未満の方)の保護者にお聞きします。

問17 お子さん(宛名の方)は、学校等の行事のほかに、地域ではどのような活動や行事に参加されていますか。(複数回答)

地域での活動や行事に『参加している』人は前回調査から増加し4割を超えています。また、「町内会や自治会の活動や行事」が増加し2割を超えています。



『参加している』 = 100.0 - 「ほとんど参加していない」 - 「無回答」

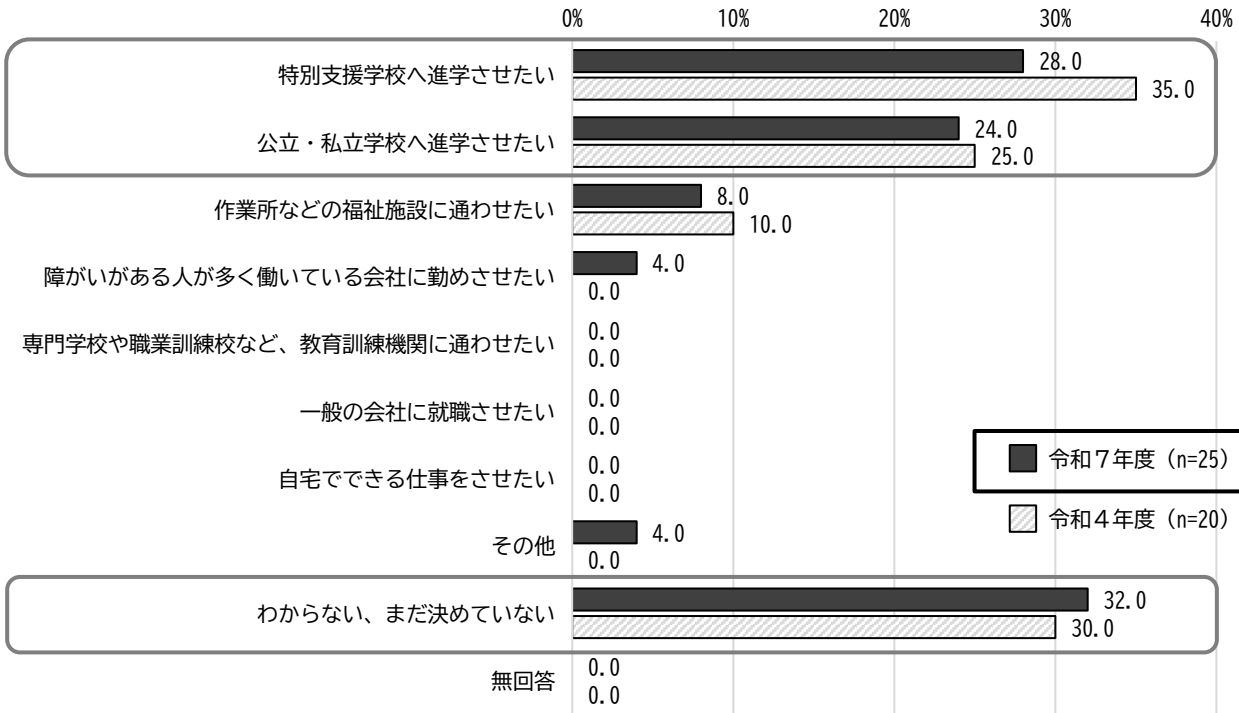
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	町内会や自治会の活動や行事	障がい者関係の活動や行事	趣味や娯楽の活動	バザーや福祉まつりなどの行事	ボランティア活動	ほとんど参加していない
全体		25	24.0	20.0	12.0	4.0	0.0	56.0
性別	男性	16	18.8	18.8	12.5	0.0	0.0	62.5
	女性	9	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	44.4
年齢	0～5歳	11	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	72.7
	6～11歳	11	27.3	27.3	18.2	9.1	0.0	54.5
	12～17歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

※医療的ケアを必要とするお子さん(18歳未満の方)の保護者にお聞きします。
 問18 お子さん(宛名の方)の卒園・卒業後について、どのようにお考えですか。
 (単一回答)

卒園・卒業後について「わからない、まだ決めていない」が前回調査より微増し約3割となっています。また、「特別支援学校へ進学させたい」が前回調査から減少しているものの約3割となっており、「公立・私立学校へ進学させたい」も微減しているものの2割を超えています。



■ 性別・年齢

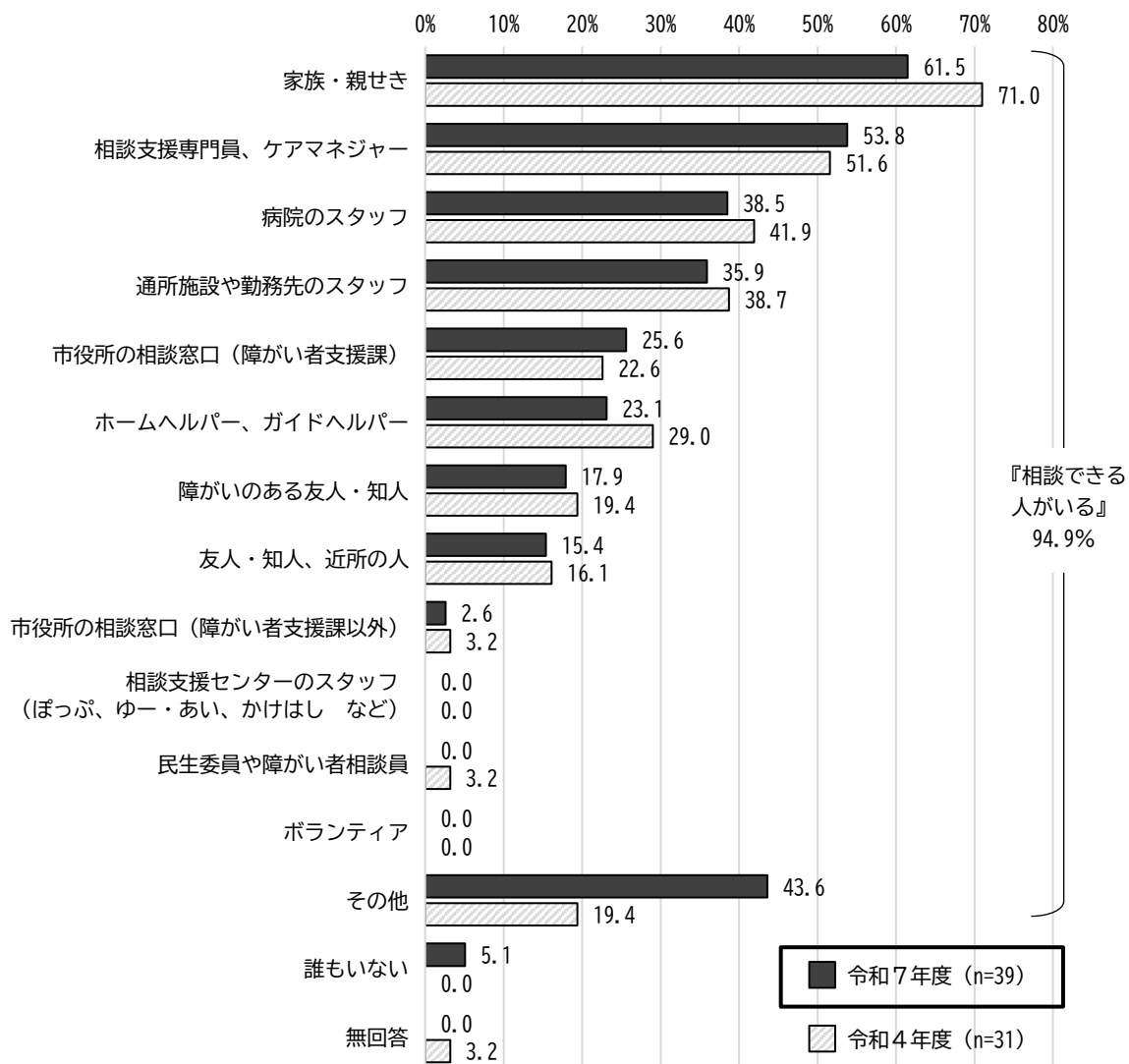
(単位: %)

		回答者数	特別支援学校へ進学させたい	公立・私立学校へ進学させたい	作業所などの福祉施設に通わせたい	障がいがある人が多く働いている会社に勤めさせたい	専門学校や職業訓練校など、教育訓練機関に通わせたい	一般の会社に就職させたい	自宅でできる仕事をさせたい	わからない、まだ決めていない
全体		25	28.0	24.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	32.0
性別	男性	16	31.3	25.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	31.3
	女性	9	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年齢	0~5歳	11	45.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4
	6~11歳	11	9.1	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3
	12~17歳	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

6. 相談について

問19 宛名の方が、日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人は誰ですか。
(複数回答)

日常生活や障がいのことなどで困った時に、『相談できる人がいる』人が9割を超えています。また、相談できる人が「誰もいない」人について、他の年齢層と比べて「60歳以上」で多くなっています。



『相談できる人がいる』 = 100.0 - 「誰もいない」 - 「無回答」

「その他」・・・訪問看護師、など

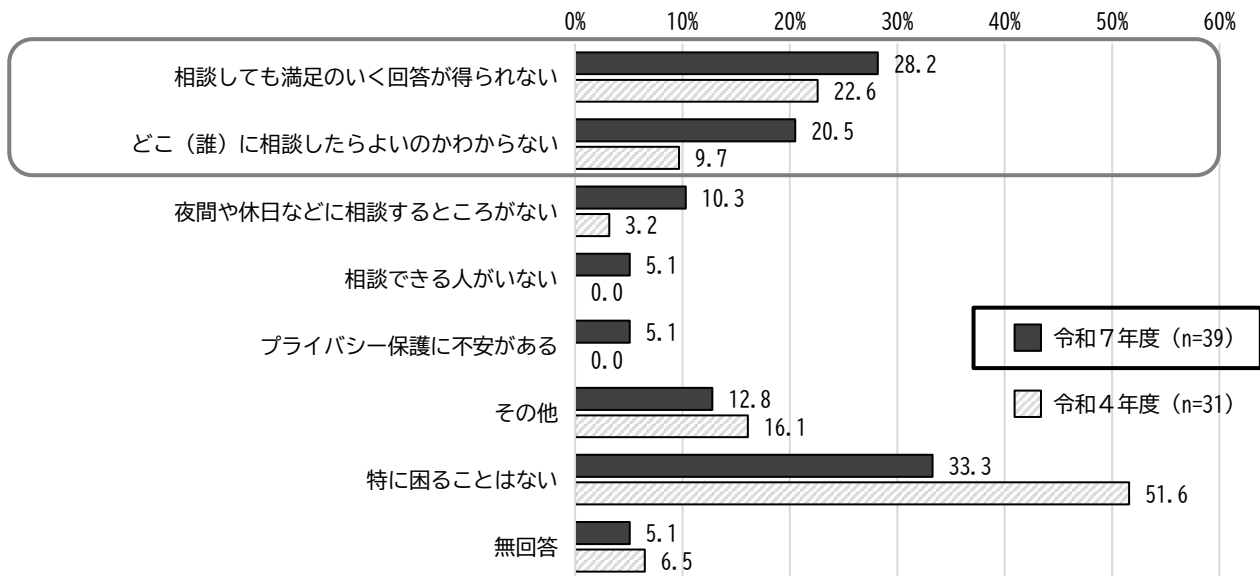
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	家族・親せき	相談支援専門員、ケアマネジャー	病院のスタッフ	通所施設や勤務先のスタッフ	市役所の相談窓口（障がい者支援課）	ホームヘルパー、ガイドヘルパー	障がいのある友人・知人	友人・知人、近所の人	市役所の相談窓口（障がい者支援課以外）	相談支援センターのスタッフ（ほっぴ、ゆー・あい、かけはし など）	民生委員や障がい者相談員	ボランティア	誰もいない
全体		39	61.5	53.8	38.5	35.9	25.6	23.1	17.9	15.4	2.6	0.0	0.0	0.0	5.1
性別	男性	24	62.5	54.2	41.7	37.5	25.0	25.0	12.5	20.8	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2
	女性	15	60.0	53.3	33.3	33.3	26.7	20.0	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
年齢	0～5歳	12	58.3	25.0	50.0	33.3	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
	6～11歳	11	90.9	54.5	27.3	45.5	9.1	27.3	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～17歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	42.9	71.4	28.6	0.0	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

問20 相談について困ることは何ですか。(複数回答)

相談で困ることについて「相談しても満足いく回答が得られない」が前回調査より増加し約3割となっており、「どこ(誰)に相談したらよいかわからない」も大幅に増加し約2割となっています。



■ 性別・年齢

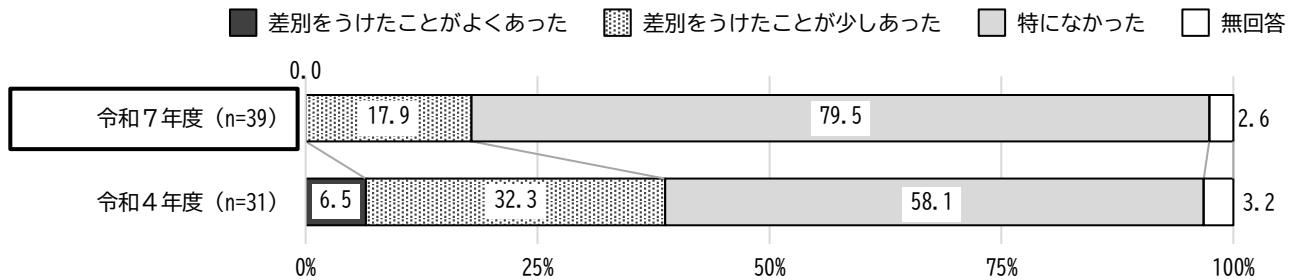
(単位：%)

		回答者数	相談しても満足いく回答が得られない	どこ(誰)に相談したらよいかわからない	夜間や休日などに相談するところがない	相談できる人がいない	プライバシー保護に不安がある	特に困ることはない
全体		39	28.2	20.5	10.3	5.1	5.1	33.3
性別	男性	24	29.2	12.5	8.3	4.2	0.0	37.5
	女性	15	26.7	33.3	13.3	6.7	13.3	26.7
年齢	0～5歳	12	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0	33.3
	6～11歳	11	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0	27.3
	12～17歳	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	18～29歳	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	30～59歳	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9

7. 差別や権利擁護のことについて

問21 宛名の方は、この1年（令和6年9月～令和7年8月）の間に、障がいがあることで差別を受けたことがありますか。（単一回答）

1年の間に障がいがあることで差別を受けたことが「特に無かった」人が前回調査より大幅に増加し約8割となっています。



性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	よくあった	少しあった	特になかった
全体		39	0.0	17.9	79.5
性別	男性	24	0.0	12.5	83.3
	女性	15	0.0	26.7	73.3
年齢	0～5歳	12	0.0	25.0	75.0
	6～11歳	11	0.0	18.2	81.8
	12～17歳	3	0.0	33.3	66.7
	18～29歳	4	0.0	0.0	100.0
	30～59歳	2	0.0	0.0	100.0
	60歳以上	7	0.0	14.3	71.4

問22 宛名の方が、この1年（令和6年9月～令和7年8月）の間に体験した「差別を感じた対応」と、「気遣いや思いやりを感じた対応」についてお聞かせください。
（自由回答）

① 差別を感じた対応（どのような場面で、誰から）

■日常生活

- 混雑している場所に外出した際、バギーが場所を取ることで迷惑そうな顔をされた（地域の祭など）。（0～5歳・身体, 難病）
- 公立私立の学校にエレベーターやスロープ、多目的トイレがない、あっても使わせてもらえない。（12～17歳・身体, 知的）
- インクルーシブと銘打っている企画も、健常者基準になっていて、心がえぐられるほどつらかった。市の企画だったこともがっかりさせられてしまった。（0～5歳・身体, 知的, 難病）

② 気遣いや思いやりを感じた対応（どのような場面で、誰から）

■日常生活

- 関係者全員、いつもよくしてくれます。（0～5歳・身体,難病）
- 学校のクラスの皆が授業で分からないことを手伝ってくれて（6～11歳・身体,難病）
- 地域のおまつりで、学校が一緒だった友達から声をかけられた。（12～17歳・身体,知的）
- エレベーターを優先的に利用させてもらったり、日常的に差別よりも気遣いや思いやりを感じる場面の方が圧倒的に多い。（0～5歳・身体,難病）
- 訪問学級の先生が絶対に諦めず、どんなに小さな表出も見逃さず、必ずよくなると信じて頑張ってくださいと励まして下さったおかげで前向きに考える事ができるようになりました。（12～17歳・身体）
- だれでもトイレに健常者の方が並んでいて、どうしたものかと思っていたら、通りかかった人（健常者）が「障害のある人優先して使うべきです」と言って下さり、優先してもらえました。（60～69歳・身体）
- 保育園の対応。障害があることを理由に何かを禁止されたことはなく、健常の子と自然にかかわる方法を模索してくださっている。配慮は必要だが、特別扱いはない感じが親として嬉しかった。本人も、楽しそうに通わせていただいています。（0～5歳・身体,知的,難病）
- ・スーパーのレジで店員さんが、大変だからとカゴの商品を袋に詰めてくれる時。優しくとてもありがたいと思う。・ショッピングモールで高齢の方が、エレベーターの開くボタンをずっと押してくれていた時。こちらが押さなければいけないところ、どうぞと言われとても優しい気持ちになった。（6～11歳・身体）
- 子供向けのイベントに参加したときの対応に感動しました。車イスでの参加でしたがスタッフの方が適切に誘導してくれました。車イス以外の方とイベントの動線が違って、全く同じ体験は無理だろうと思っていたのですが、車イスの所までスタッフがそれを持って来てくれて全く同じ体験ができて感動しました。（6～11歳・身体,難病）

■職場・就労

- 中学校に進学する際、肢体不自由の学校から知的の学校に移るのに、放課後デイサービスが決まるまで学校にはギリギリまで待ってもらいました。介護タクシーも利用しないといけなくなり色々大変でしたが、タクシー会社の方には細かく説明してもらえまして、車まで見せに来ていただきました。その後もLINEで子供の様子も教えて貰えています。安心して利用できていてありがたいです。デイサービスを2カ所利用していますが、2社で相談して1週間埋めてくださり、学校を移る事ができました。皆さんの努力のお陰だと感謝しております。（12～17歳・身体,知的）

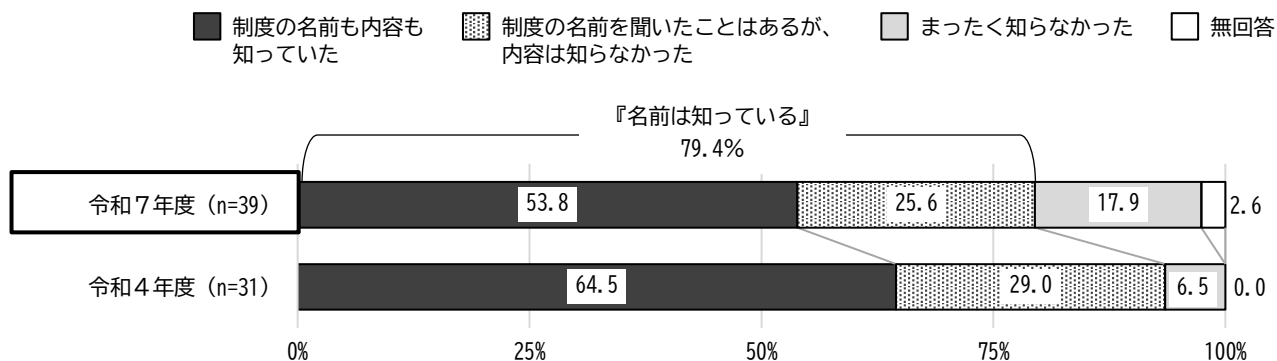
■医療・受診

- 転居したので、病院の転院を希望したが、障害の重さで、転院する事が出来なかった。理由を聞いたら、都立小児医療センターの医師から、経験がないから、必要のない薬を与えてしまう可能性があるからと言われた。（6～11歳・身体）
- これを記入している本日、たまたま胃ろう交換の5ヵ月に1回の定期入院日だったが、摘便日が火・金の週2回で、入院日で大変だろうとお心配りを頂き、訪問看護師さんが昨日の木曜日に摘便をしに来てくださりありがたかったです。日頃の訪問による入浴、PT、医療、ヘルパーさん、ケアマネさんにも感謝しています。（80歳以上・身体,難病）

E 医療的ケア児・者調査 7. 差別や権利擁護のことについて

問23 成年後見制度について知っていますか。(単一回答)

成年後見制度の『名前は知っている』人について前回調査より大幅に減少し約8割となっています。また、「まったく知らなかった」人について、他の年齢層と比べて「0～5歳」で多くなっています。

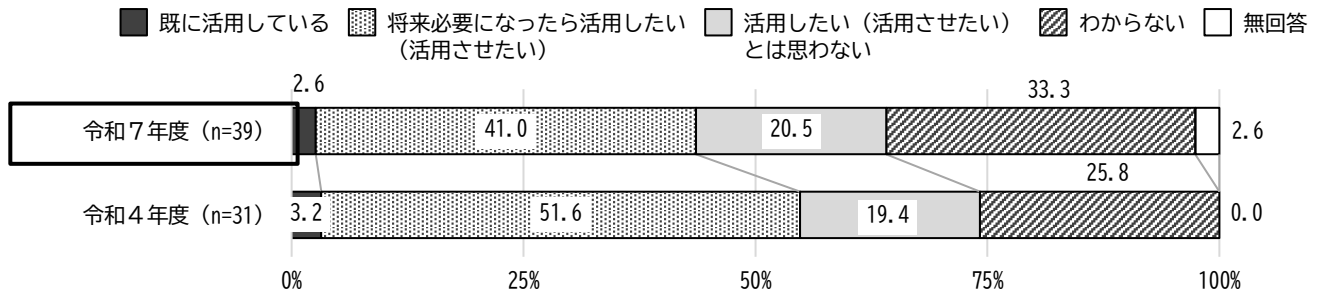


■ 性別・年齢 (単位：%)

		回答者数	制度の名前も内容も知っていた	制度の名前を聞いたことはあるが、内容は知らなかった	まったく知らなかった
全体		39	53.8	25.6	17.9
性別	男性	24	58.3	20.8	16.7
	女性	15	46.7	33.3	20.0
年齢	0～5歳	12	25.0	25.0	50.0
	6～11歳	11	54.5	36.4	9.1
	12～17歳	3	66.7	33.3	0.0
	18～29歳	4	100.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	50.0	0.0
	60歳以上	7	71.4	14.3	0.0

問24 宛名の方は、成年後見制度を活用したいと思いますか。(宛名の方に、成年後見制度を活用させたいと思いますか。)(単一回答)

成年後見制度を「将来必要になったら活用したい」人について前回調査より大幅に減少し約4割となっています。

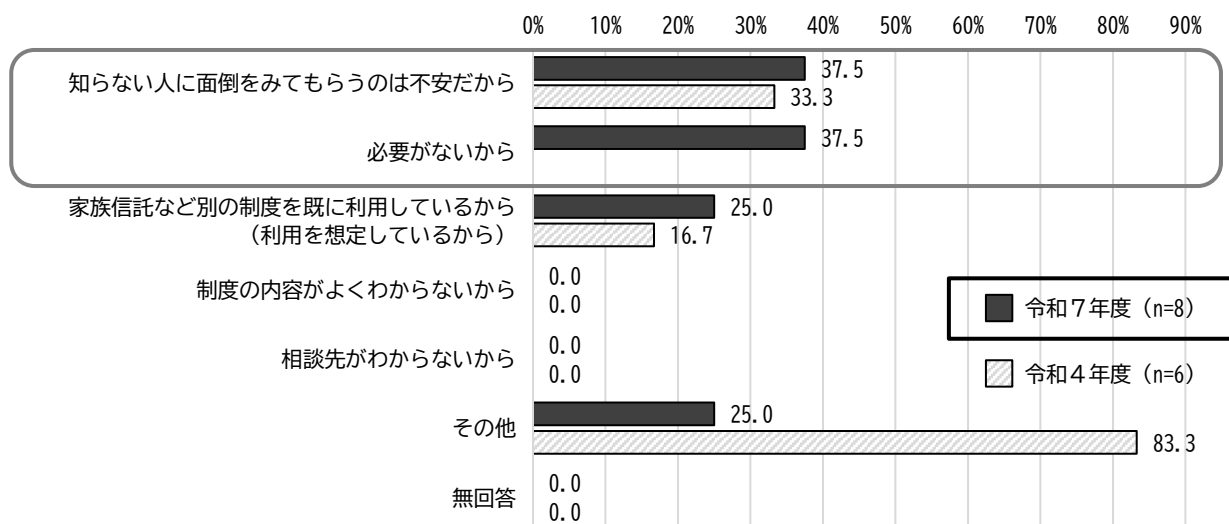


■ 性別・年齢 (単位：%)

		回答者数	既に活用している	将来必要になったら活用したい (活用させたい)	活用したい (活用させたい)とは思わない	わからない
全体		39	2.6	41.0	20.5	33.3
性別	男性	24	4.2	33.3	20.8	37.5
	女性	15	0.0	53.3	20.0	26.7
年齢	0～5歳	12	0.0	33.3	16.7	50.0
	6～11歳	11	0.0	45.5	9.1	45.5
	12～17歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	18～29歳	4	0.0	25.0	75.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	14.3	28.6	28.6	14.3

※「活用したい（活用させたい）とは思わない」と回答した方にお聞きします。
 問24-1 活用したい（活用させたい）とは思わない理由は何ですか。（複数回答）

成年後見制度を活用したいとは思わない理由について「知らない人に面倒をみてもらうのは不安だから」「必要がないから」が約4割となっています。

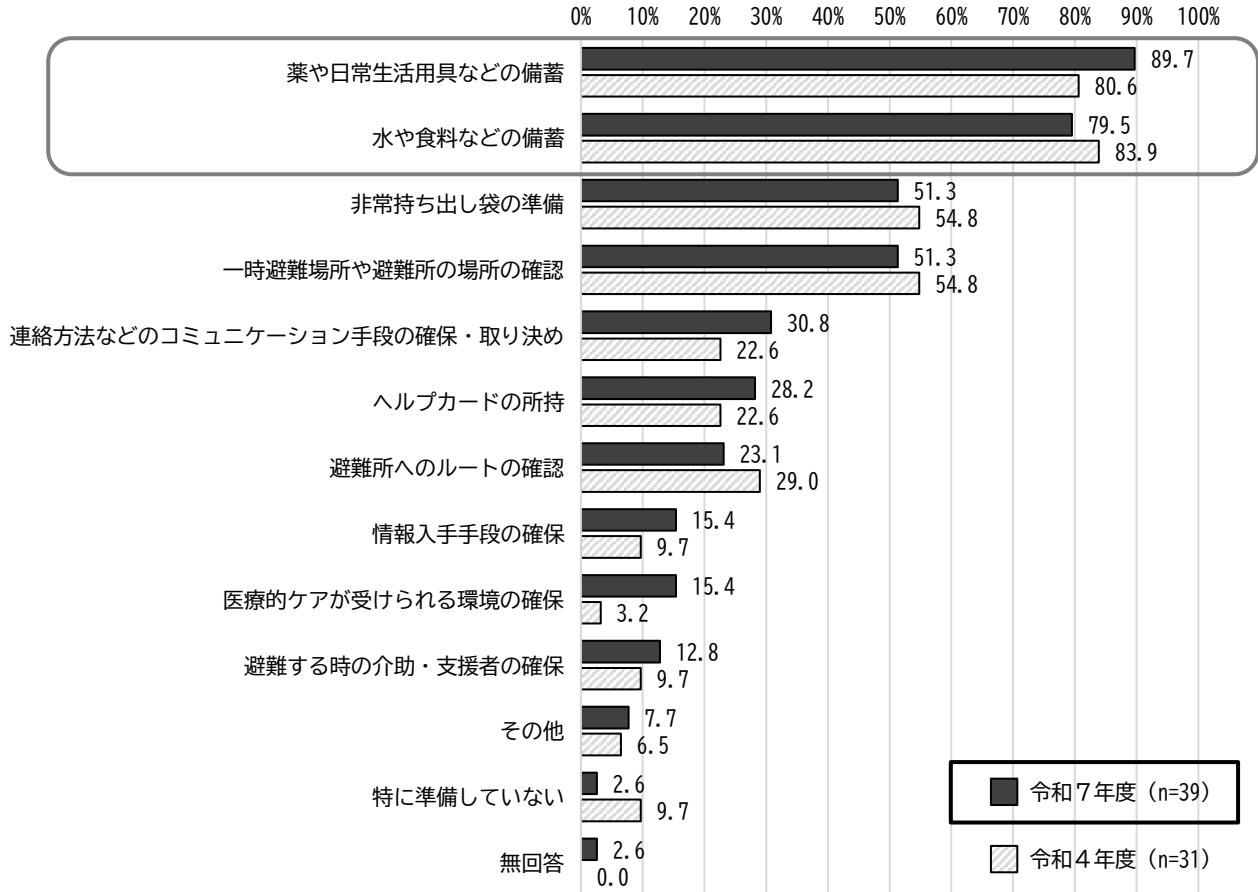


※「必要がないから」は今回調査より選択肢を追加

8. 災害時の対策、緊急時の対応などについて

問25 災害に備えて、準備をしていることは何ですか。(複数回答)

災害に備えて準備をしていることについて「薬や日常生活用具などの備蓄」をしている人が前回調査より増加し約9割となっている一方、「水や食料などの備蓄」は前回調査から減少し約8割となっています。



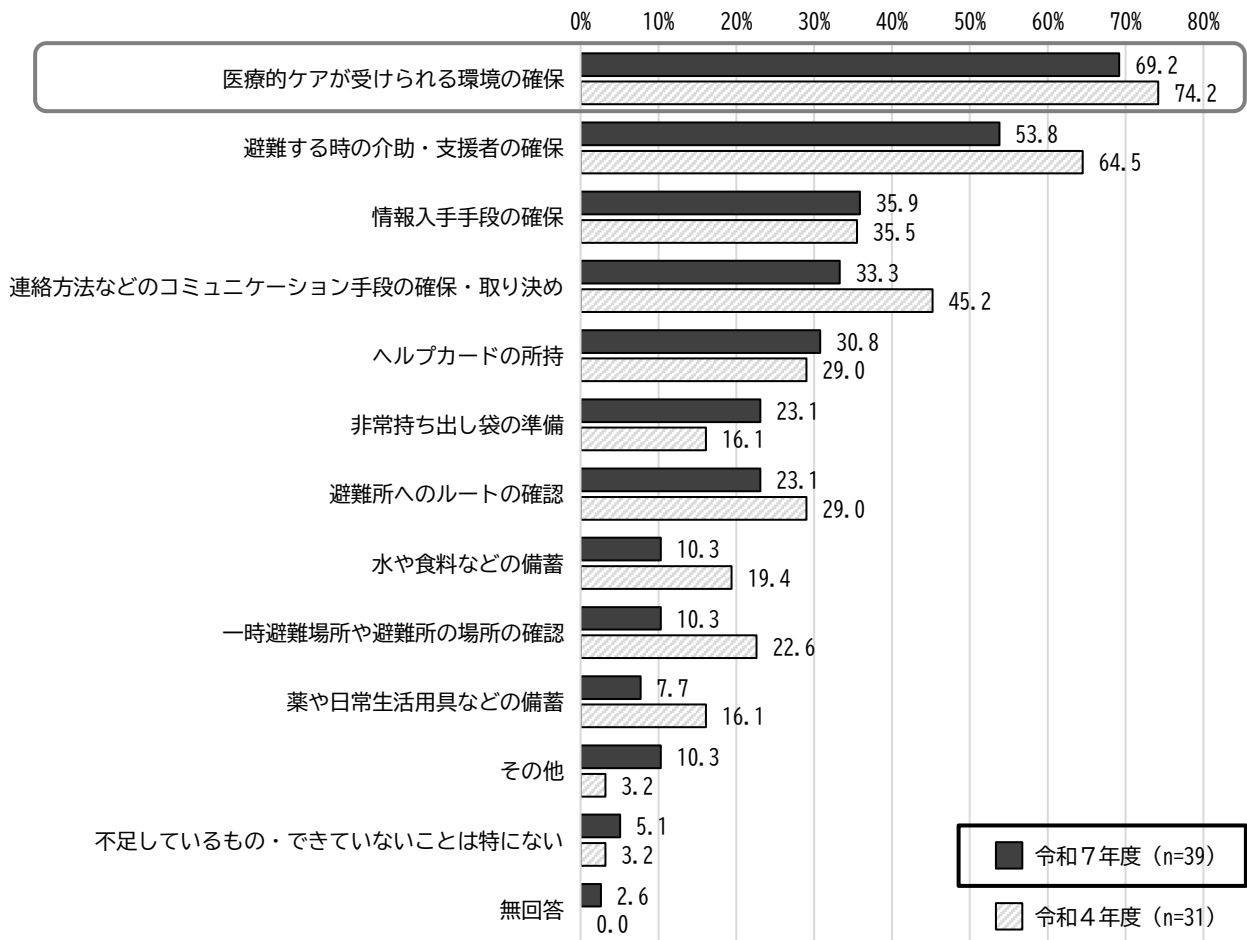
性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	薬や日常生活用具などの備蓄	水や食料などの備蓄	非常持ち出し袋の準備	一時避難場所や避難所の場所の確認	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め	ヘルプカードの所持	避難所へのルートの確認	情報入手手段の確保	医療的ケアが受けられる環境の確保	避難する時の介助・支援者の確保	特に準備していない
全体		39	89.7	79.5	51.3	51.3	30.8	28.2	23.1	15.4	15.4	12.8	2.6
性別	男性	24	95.8	87.5	54.2	50.0	37.5	20.8	33.3	25.0	20.8	20.8	0.0
	女性	15	80.0	66.7	46.7	53.3	20.0	40.0	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7
年齢	0～5歳	12	91.7	83.3	50.0	83.3	50.0	25.0	41.7	25.0	8.3	16.7	0.0
	6～11歳	11	100.0	90.9	81.8	27.3	9.1	54.5	9.1	0.0	27.3	9.1	0.0
	12～17歳	3	100.0	100.0	66.7	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	18～29歳	4	100.0	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3

問26 災害時の備えとして足りていないこと、できていないことは何ですか。(複数回答)

災害の備えとして足りていないこと、できていないことについて「医療的ケアが受けられる環境の確保」が前回調査より減少し約7割となっています。



「その他」・・・電源の確保、など

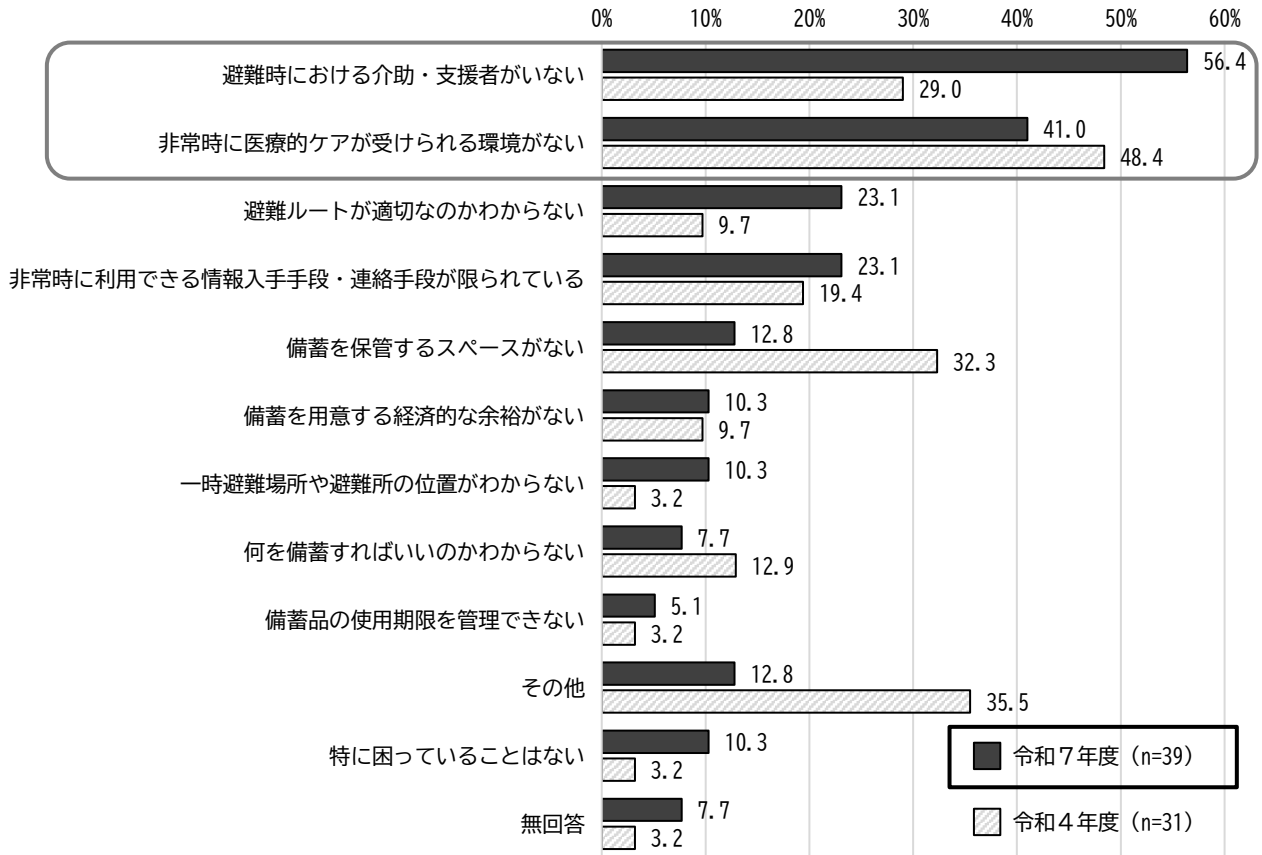
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	医療的ケアが受けられる環境の確保	避難する時の介助・支援者の確保	情報入手手段の確保	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め	ヘルプカードの所持	非常持ち出し袋の準備	避難所へのルートの確認	水や食料などの備蓄	一時避難場所や避難所の場所の確認	薬や日常生活用具などの備蓄	不足しているもの・できていないことは特にない
全体		39	69.2	53.8	35.9	33.3	30.8	23.1	23.1	10.3	10.3	7.7	5.1
性別	男性	24	79.2	50.0	37.5	33.3	29.2	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3
	女性	15	53.3	60.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	13.3	13.3	6.7	0.0
年齢	0～5歳	12	75.0	33.3	50.0	25.0	50.0	41.7	25.0	25.0	0.0	16.7	8.3
	6～11歳	11	81.8	63.6	27.3	45.5	18.2	18.2	45.5	0.0	27.3	0.0	9.1
	12～17歳	3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
	18～29歳	4	75.0	100.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問27 災害時の準備をする上で、困っていることは何ですか。(複数回答)

災害時の準備をする上で困っていることについて「避難時における介助・支援者がいない」が前回調査より大幅に増加し5割を超える一方、「非常時に医療的ケアが受けられる環境がない」が減少し約4割となっています。



性別・年齢

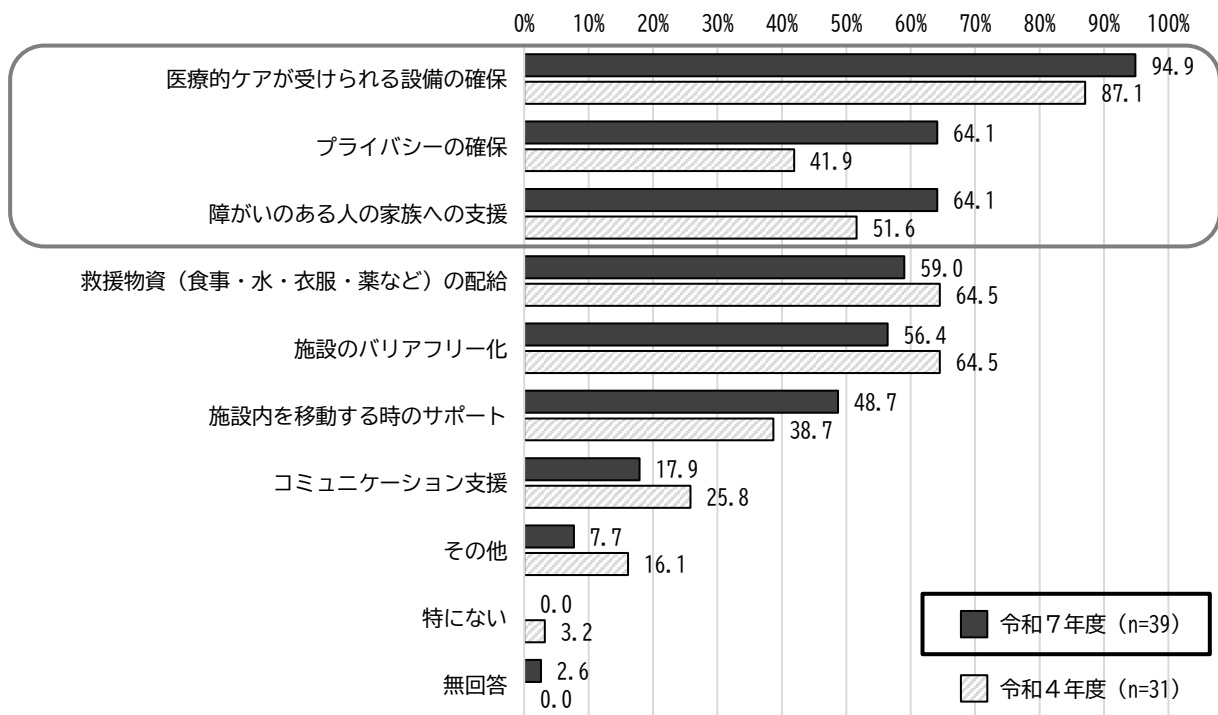
(単位：%)

		回答者数	避難時における介助・支援者がいない	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない	避難ルートが適切なかわからない	非常時に利用できる情報入手手段・連絡手段が限られている	備蓄を保管するスペースがない	備蓄を用意する経済的な余裕がない	一時避難場所や避難所の位置がわからない	何を備蓄すればいいかわからない	備蓄品の使用期限を管理できない	特に困っていることはない
全体		39	56.4	41.0	23.1	23.1	12.8	10.3	10.3	7.7	5.1	10.3
性別	男性	24	54.2	50.0	25.0	25.0	12.5	16.7	8.3	4.2	4.2	12.5
	女性	15	60.0	26.7	20.0	20.0	13.3	0.0	13.3	13.3	6.7	6.7
年齢	0～5歳	12	33.3	41.7	0.0	8.3	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7
	6～11歳	11	81.8	45.5	54.5	36.4	9.1	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1
	12～17歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	18～29歳	4	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0

E 医療的ケア児・者調査 8. 災害時の対策、緊急時の対応などについて

問28 避難所で生活するために必要な支援は何ですか。(複数回答)

避難所での生活に必要な支援について「医療的ケアが受けられる設備の確保」が前回調査より増加し9割を超えています。また、「プライバシーの確保」「障がいのある人の家族への支援」も増加し6割を超えています。



■ 性別・年齢

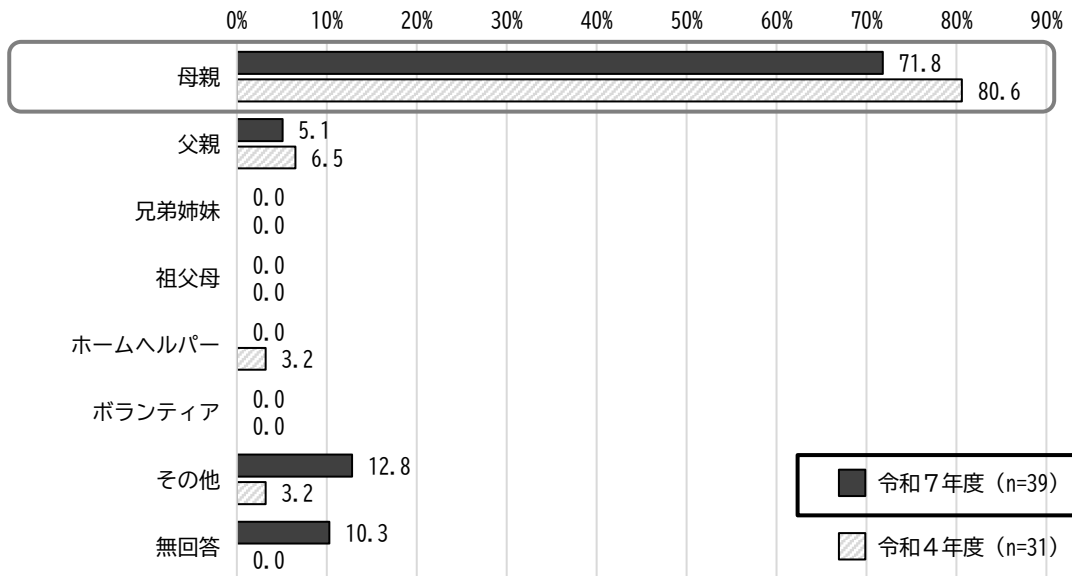
(単位：%)

		回答者数	医療的ケアが受けられる設備の確保	プライバシーの確保	障がいのある人の家族への支援	救援物資(食事・水・衣服・薬など)の配給	施設のバリアフリー化	施設内を移動する時のサポート	コミュニケーション支援	特にない
全体		39	94.9	64.1	64.1	59.0	56.4	48.7	17.9	0.0
性別	男性	24	95.8	62.5	62.5	62.5	58.3	45.8	16.7	0.0
	女性	15	93.3	66.7	66.7	53.3	53.3	53.3	20.0	0.0
年齢	0～5歳	12	100.0	58.3	58.3	58.3	50.0	41.7	8.3	0.0
	6～11歳	11	100.0	54.5	54.5	63.6	45.5	36.4	9.1	0.0
	12～17歳	3	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0
	18～29歳	4	100.0	100.0	75.0	75.0	100.0	75.0	50.0	0.0
	30～59歳	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0
	60歳以上	7	100.0	57.1	71.4	42.9	42.9	57.1	14.3	0.0

9. 主にケアしている方について

問29 自宅で宛名の方を主にケアしている方は誰ですか。宛名の方から見た関係でお答えください。(単一回答)

主にケアしている方について「母親」が前回調査より減少し、約7割となっています。



「その他」・・・妻、など

性別・年齢

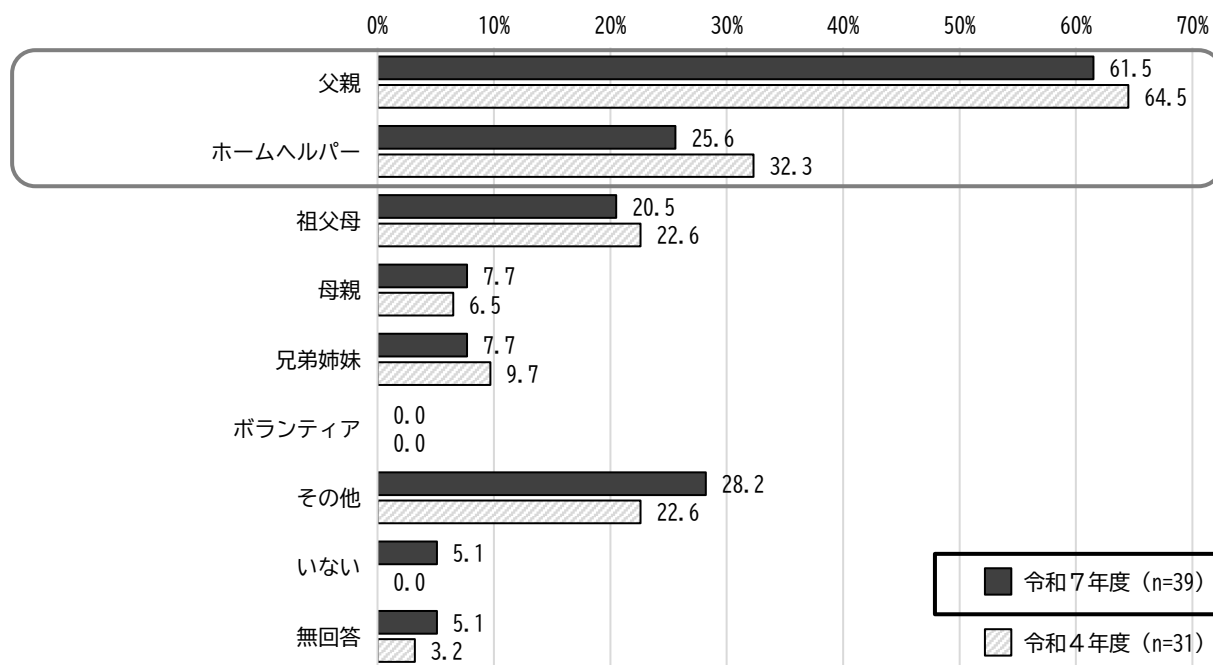
(単位：%)

		回答者数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	ホームヘルパー	ボランティア
全体		39	71.8	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	24	75.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性	15	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	0～5歳	12	91.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	11	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～17歳	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

E 医療的ケア児・者調査 9.主にケアしている方について

問30 他に宛名の方をケアしている方はいますか。宛名の方から見た関係でお答えください。(複数回答)

他にケアをしている人について「父親」が約6割となっており、「ホームヘルパー」が2割を超えています。



「その他」・・・訪問看護師、など

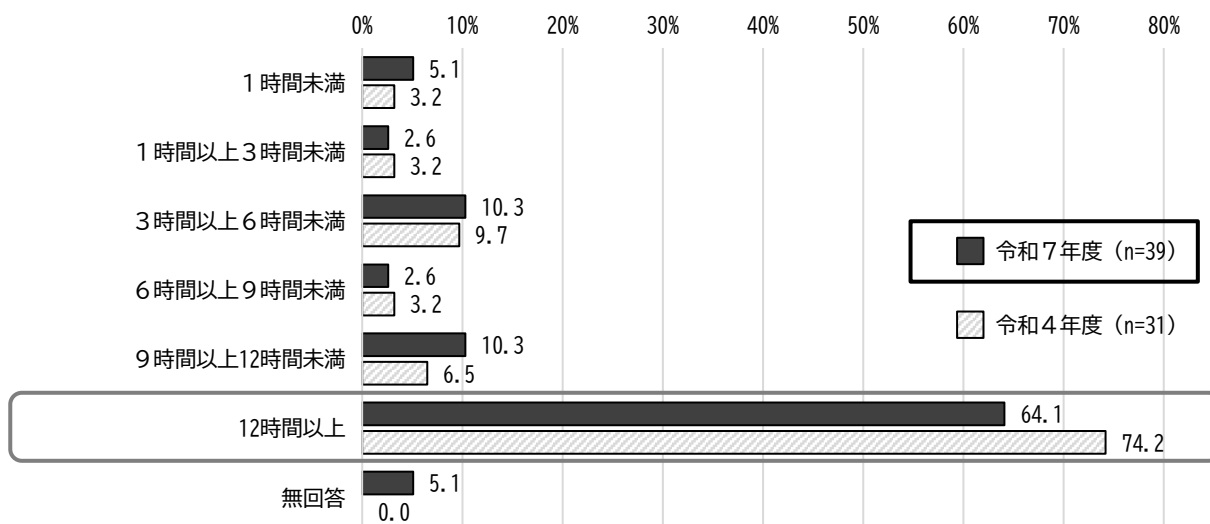
■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	父親	ホームヘルパー	祖父母	母親	兄弟姉妹	ボランティア	いない
全体		39	61.5	25.6	20.5	7.7	7.7	0.0	5.1
性別	男性	24	62.5	25.0	16.7	4.2	8.3	0.0	4.2
	女性	15	60.0	26.7	26.7	13.3	6.7	0.0	6.7
年齢	0～5歳	12	91.7	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3
	6～11歳	11	72.7	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1
	12～17歳	3	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	18～29歳	4	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	0.0	57.1	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0

問31 宛名の方を主にケアしている方の、1日のケア時間をお答えください（見守りも含む）。（単一回答）

1日のケア時間について「12時間以上」が前回調査から大幅に減少しているものの6割を超えています。



■ 性別・年齢

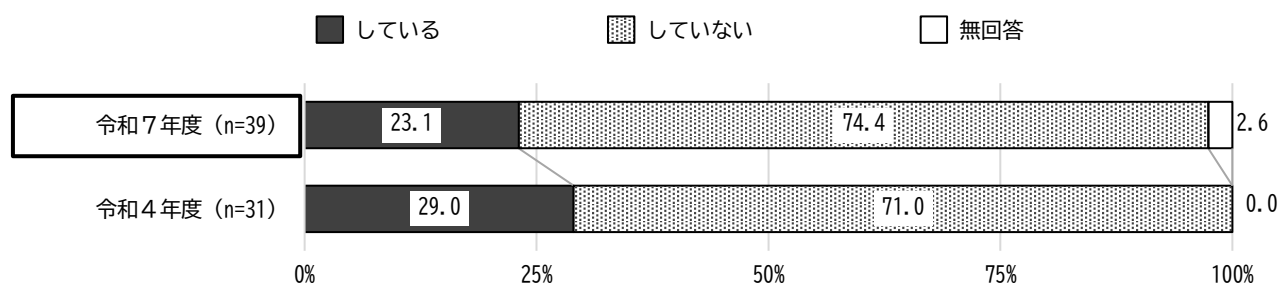
(単位：%)

		回答者数	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上6時間未満	6時間以上9時間未満	9時間以上12時間未満	12時間以上
全体		39	5.1	2.6	10.3	2.6	10.3	64.1
性別	男性	24	8.3	4.2	8.3	0.0	8.3	66.7
	女性	15	0.0	0.0	13.3	6.7	13.3	60.0
年齢	0～5歳	12	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3	58.3
	6～11歳	11	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	63.6
	12～17歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	18～29歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30～59歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	60歳以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	42.9

E 医療的ケア児・者調査 9.主にケアしている方について

問32 宛名の方を主にケアしている方は、調査対象となった方以外に、乳幼児、高齢者、病気・障がいのある人のお世話をしていますか。(単一回答)

乳幼児、高齢者、病気・障がいのある人のお世話を他に「している」人は前回調査から減少し2割を超える程度となっています。

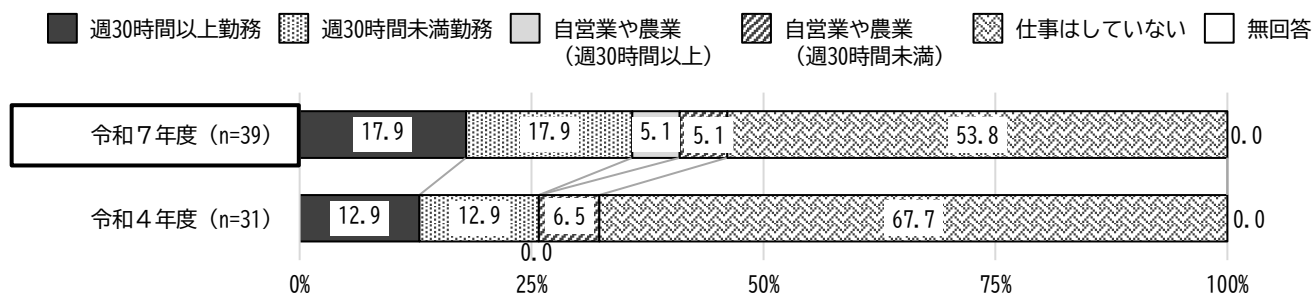


■ 性別・年齢 (単位：%)

		回答者数	している	していない
全体		39	23.1	74.4
性別	男性	24	29.2	70.8
	女性	15	13.3	80.0
年齢	0～5歳	12	25.0	75.0
	6～11歳	11	36.4	63.6
	12～17歳	3	0.0	100.0
	18～29歳	4	25.0	75.0
	30～59歳	2	0.0	100.0
	60歳以上	7	14.3	71.4

問33 宛名の方を主にケアしている方は、現在、仕事をしていますか。(単一回答)

就労状況について「週30時間以上勤務」の人が前回調査から増加し約2割となっており「週30時間未満勤務」の人も増加し約2割となっています。



性別・年齢

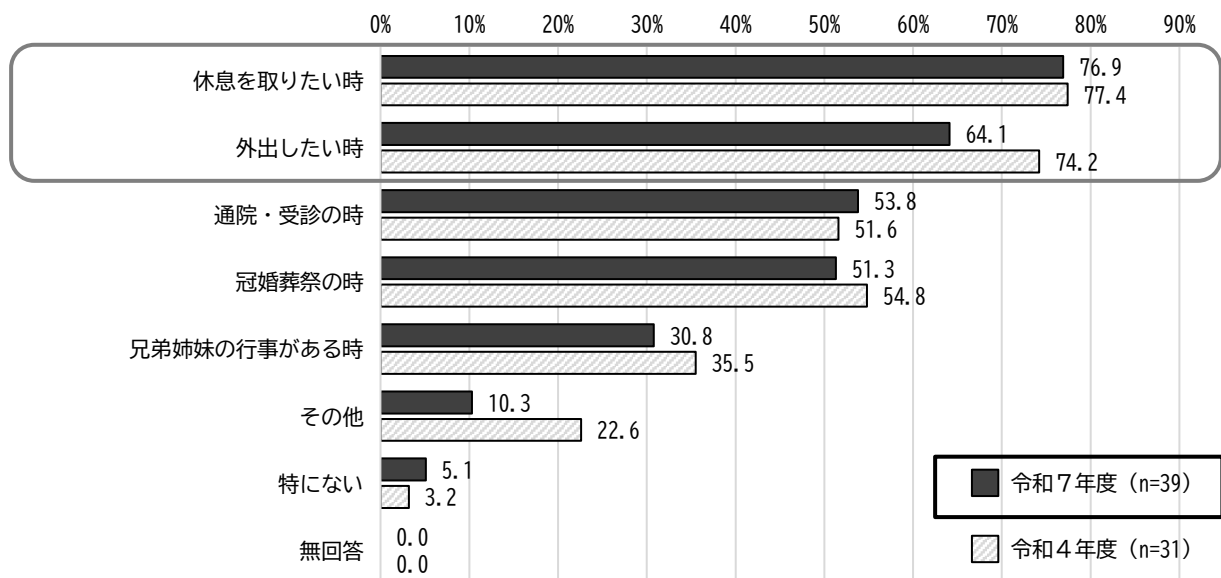
(単位：%)

		回答者数	週30時間以上勤務	週30時間未満勤務	自営業や農業 (週30時間以上)	自営業や農業 (週30時間未満)	仕事はしていない
全体		39	17.9	17.9	5.1	5.1	53.8
性別	男性	24	16.7	20.8	0.0	8.3	54.2
	女性	15	20.0	13.3	13.3	0.0	53.3
年齢	0～5歳	12	25.0	16.7	8.3	0.0	50.0
	6～11歳	11	27.3	18.2	0.0	9.1	45.5
	12～17歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	18～29歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30～59歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	60歳以上	7	0.0	28.6	14.3	14.3	42.9

E 医療的ケア児・者調査 9.主にケアしている方について

問34 宛名の方を主にケアしている方が代わりを依頼したいと感じる時はどんな時ですか。(複数回答)

代わりを依頼したいと感じる時について「休息を取りたい時」が前回調査からほとんど変化はなく8割弱となっており、「外出したい時」が前回調査から大幅に減少しているものの6割を超えています。



■ 性別・年齢

(単位：%)

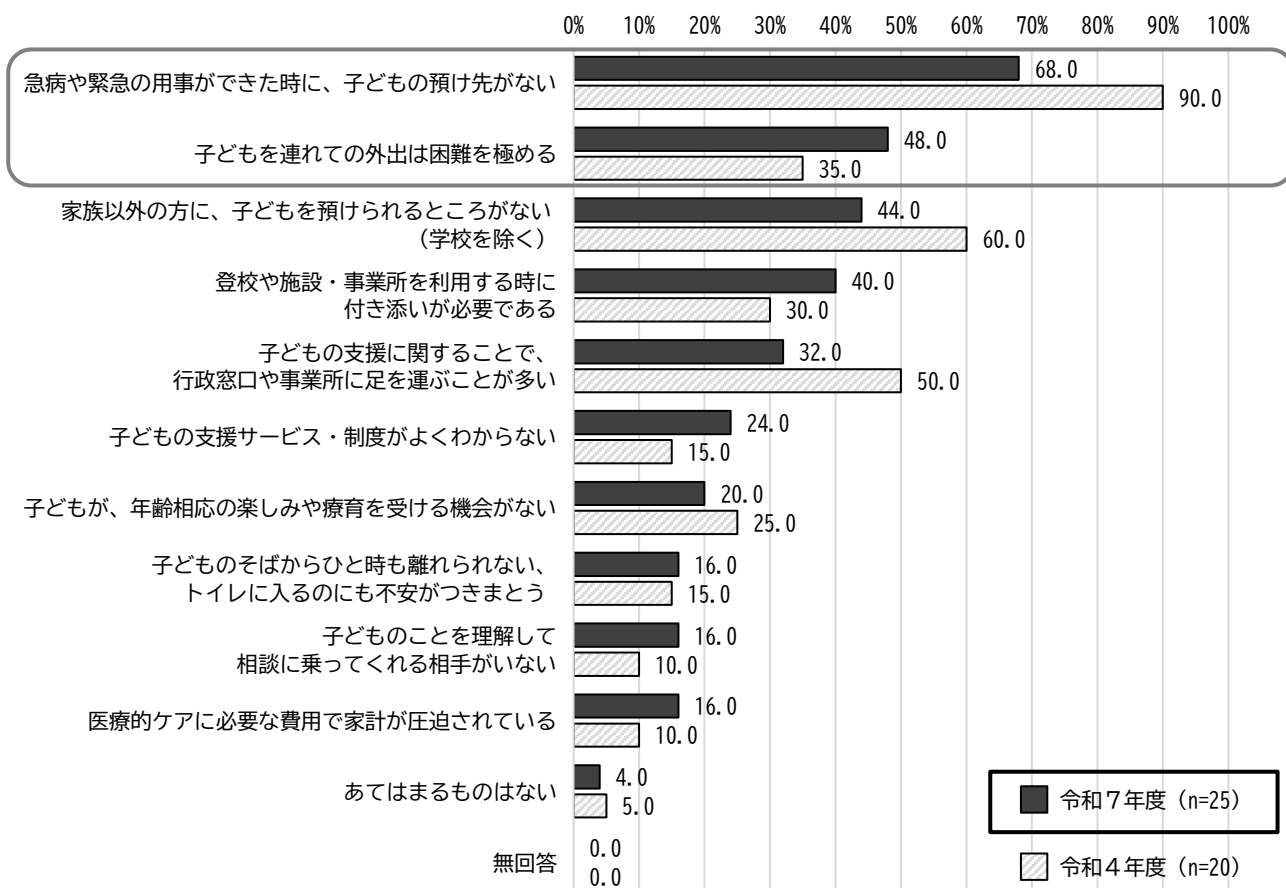
		回答者数	休息を取りたい時	外出したい時	通院・受診の時	冠婚葬祭の時	兄弟姉妹の行事がある時	特にない
全体		39	76.9	64.1	53.8	51.3	30.8	5.1
性別	男性	24	75.0	70.8	66.7	66.7	37.5	4.2
	女性	15	80.0	53.3	33.3	26.7	20.0	6.7
年齢	0～5歳	12	75.0	66.7	50.0	33.3	25.0	8.3
	6～11歳	11	81.8	63.6	54.5	72.7	45.5	0.0
	12～17歳	3	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	0.0
	18～29歳	4	75.0	100.0	75.0	75.0	50.0	0.0
	30～59歳	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	60歳以上	7	57.1	42.9	42.9	28.6	14.3	14.3

10. 医療的ケアを必要とするお子さんを主にケアしている方について

医療的ケアを必要とするお子さん（18歳未満の方）の保護者にお聞きします。

問35 日々の生活の負担感について、あてはまるものをご回答ください。（複数回答）

日々の生活の負担感について、「急病や緊急の用事ができた時に、子どもの預け先がない」が前回調査より大幅に減少し約7割となっている一方、「子どもを連れての外出は困難を極める」が大幅に増加し約5割となっています。



E 医療的ケア児・者調査 10. 医療的ケアを必要とするお子さんを主にケアしている方について

■ 性別・年齢

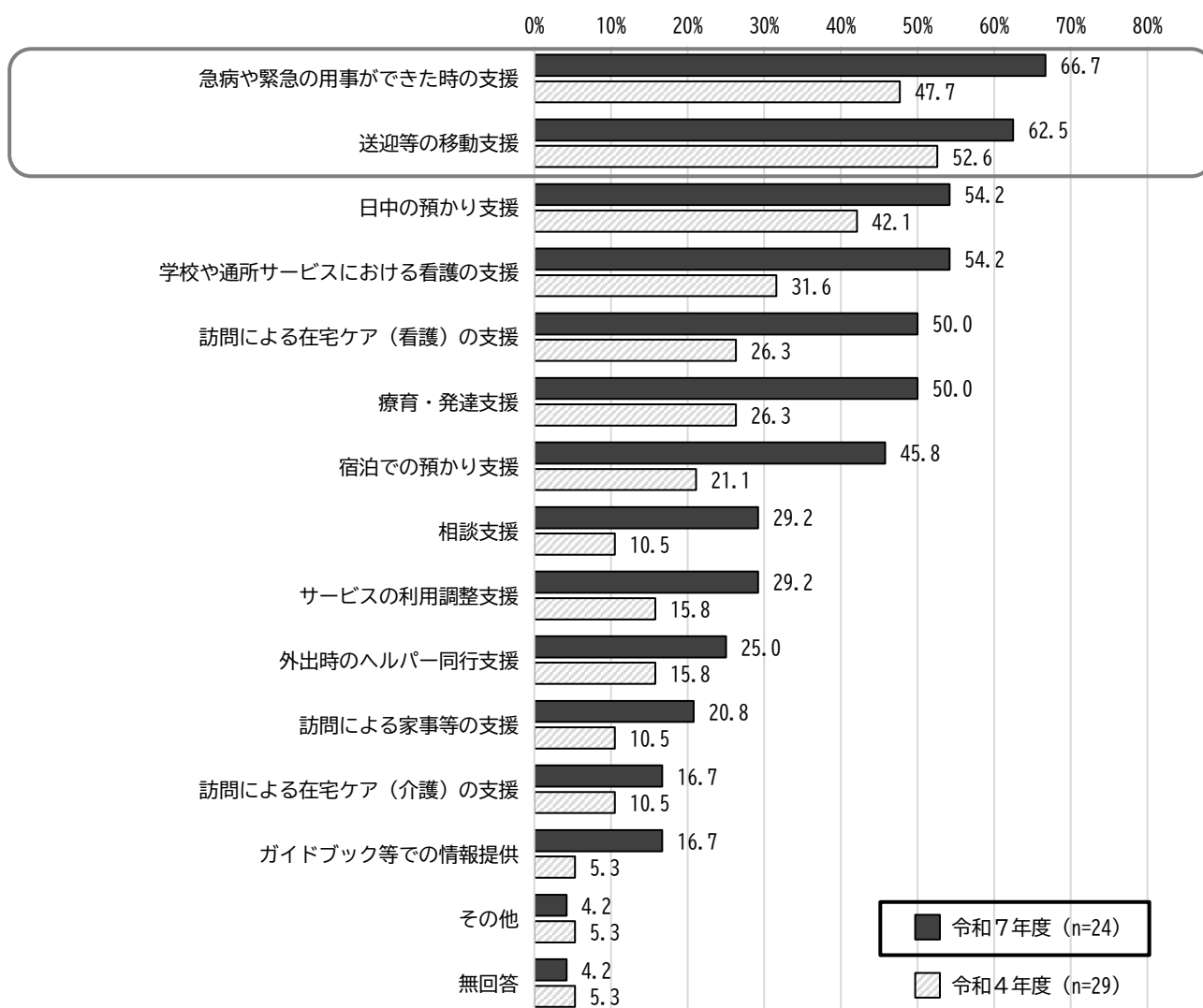
(単位：%)

		回答者数	急病や緊急の用事ができた時に、子どもの預け先がない	子どもを連れての外出は困難を極める	家族以外の方に、子どもを預けられるところがない(学校を除く)	登校や施設・事業所を利用する時に付き添いが必要である	子どもの支援に関する事で、行政窓口や事業所に足を運ぶことが多い	子どもの支援サービス・制度がよくわからない	子どもが、年齢相応の楽しみや療育を受ける機会がない	子どものそばからひと時も離れられない、トイレに入るのにも不安がつきまとう	子どものことを理解して相談に乗ってくれる相手がない	医療的ケアに必要な費用で家計が圧迫されている	あてはまるものはない
全体		25	68.0	48.0	44.0	40.0	32.0	24.0	20.0	16.0	16.0	16.0	4.0
性別	男性	16	62.5	56.3	37.5	37.5	43.8	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	6.3
	女性	9	77.8	33.3	55.6	44.4	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2	33.3	0.0
年齢	0～5歳	11	81.8	63.6	45.5	18.2	27.3	36.4	18.2	27.3	27.3	18.2	0.0
	6～11歳	11	63.6	27.3	54.5	63.6	36.4	18.2	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0
	12～17歳	3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

※あてはまるものに○を付けた方にお聞きします。

問35-1 日々の負担を軽減するために必要と考える支援やサービスは何ですか。
(複数回答)

日々の負担を軽減するために必要と考える支援やサービスについて「急病や緊急の用事ができた時の支援」が前回調査より大幅に増加し7割弱となっており、「送迎等の移動支援」も増加し6割を超えています。



E 医療的ケア児・者調査 10. 医療的ケアを必要とするお子さんを主にケアしている方について

■ 性別・年齢

(単位：%)

		回答者数	急病や緊急の用事ができた時の支援	送迎等の移動支援	日中の預かり支援	学校や通所サービスにおける看護の支援	訪問による在宅ケア(看護)の支援	療育・発達支援	宿泊での預かり支援	相談支援	サービスの利用調整支援	外出時のヘルパー同行支援	訪問による家事等の支援	訪問による在宅ケア(介護)の支援	ガイドブック等での情報提供
全体		24	66.7	62.5	54.2	54.2	50.0	50.0	45.8	29.2	29.2	25.0	20.8	16.7	16.7
性別	男性	15	53.3	73.3	60.0	53.3	40.0	53.3	53.3	20.0	20.0	33.3	20.0	13.3	6.7
	女性	9	88.9	44.4	44.4	55.6	66.7	44.4	33.3	44.4	44.4	11.1	22.2	22.2	33.3
年齢	0～5歳	11	90.9	54.5	63.6	54.5	54.5	72.7	36.4	45.5	45.5	18.2	18.2	18.2	18.2
	6～11歳	11	45.5	81.8	54.5	63.6	54.5	36.4	45.5	18.2	18.2	36.4	27.3	18.2	18.2
	12～17歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

11. ご意見・ご要望等について

問36 障がいのある方への取り組みとして、今後、三鷹市に新たに組み込んでほしいことや特に充実してほしいことについて教えてください。(自由回答)

■福祉・相談支援

- 医療的ケアが必要な障がい者が、いつでも利用できる日中一時支援サービスを、北野ハピネスセンターでも実施してください。(18～29歳・身体,知的)
- 学校の送迎の移動支援を望みます。必ず付添を伴う事から、正社員の仕事を辞めざるをえなくなります。親が就業して、金銭的な面からも支えられなければ、親の老後、子の将来全てに援助が必要となり、自立出来なくなります。また、両親共に病気で動けない時は、子供が元気でも付添が出来ないことから通学が出来なくなります。(6～11歳・身体,難病)
- ・福祉タクシーをもっと利用しやすくしてほしい 予約のしやすさ、料金等・障害がある子供が遊べる施設があるといいなと思います。※家族と一緒にいける健常児の子供と同じ空間で遊ぶのは抵抗がある。そもそも遊びの内容が違う。・色々な方が支援してくれているのですが、それをまとめる方が不在な印象です。ケアマネジャーさんの立場の方がいるといいなと思いました。困った時に気軽に相談できる相手がいない。・レスパイトの利用時間の延長(0～5歳・身体,難病)
- 医ケアがあり、外出準備、移動が大変です。介護タクシーを利用していますが、タクシー代以外にかかる、高額な予約料金、介助料であつというまに補助していただいたタクシー券は、なくなります。こちらについても補助してほしいです。300円と100円のチケットが使いにくい。100円が大量にあり、300円が少ない。500円と100円にして下さい。介護タクシーが高額の為、福祉車両の購入も考えておりますが、こちらについても補助をお願いしたいです。(6～11歳・身体)
- 医療的ケアがあり、動けると、移動支援が使えなかったり必要な支援が受けられないことがある。きょうだい児の予定で、家で本人を見てもらうのにレスパイトを使いたいが、訪問看護を利用しなくなったため利用不可となって、負担になっている。小学校高学年で放課後はデイにも行くため、家に訪問看護に来てもらう必要性はなく、朝から夕方近くまで学校看護師に様子を見てもらっているので、そこを訪問看護師が入ることと同等としてもらえるとうれしいです。(6～11歳・身体,難病)
- 三鷹市に限ったことではありませんが、障がい児を育てていて、ただでさえ日常が大変なのに、市役所へ行ってやること、申請しなくてはいけないこと、わざわざ家庭で切手を買って提出しなければいけない書類の提出…などなど、なぜさらに負担のかかることばかりなのでしょう。生きていくために、よりよく生きるためにしかたない、支援してもらうにはしかたない、というのは理解していますが、もっと行政からプッシュ型で、こちらに手間がかからないような支援方法はないのでしょうか？すでに回っています。また、動ける医療的ケア児の居場所をもっと作ってください。親たちにはがんばらせないで。(6～11歳・知的,難病)
- 高齢者の施設ばかりでなく障害者の施設を作って欲しい。高校を卒業した後行ける施設が少ないと先輩方から聞きます。一人っ子だし、私たち親が面倒見切れなくなった時どうなるんだろうと常に心配です。成年後見人もちゃんと内容を把握していませんが、利用するにはかなりのお金が必要だと聞きました。持ち逃げされるケースも少なくない…そう思うとなかなか利用しようと思えない。将来が不安でしかありません。現在ですら放課後デイサービスが少ないし、春・夏・冬休みは10時～だし、定期通院もチョコチョコあって、正規職員ではなかなか働けない。親の就労も考えてほしい。物価高で生活が本当に苦しいです。(12～17歳・身体,知的)
- 障がい児に対する支援はとても充実していて、困った時に相談できる人や病院や看護サービスによくお世話になっています。普段、大変だなと感じることは、障がい児本人ではなく、そのきょうだい児や普段主なケアをする母親の緊急時(受診時etc)、また、緊急でなくとも、予防接種や習い事の送迎等、必要な時にすぐに障がい児をみていただけるサービスがあるとありがたいです。きょうだい児の年齢が低いと、特にそういう時に困っていました。また、通園施設への移動時にかかる交通費の補助、駐車料金なども積み重なるとけっこうな負担になっていると感じます。通学の際の交通費の補助はあるとききましたが、未就学児からあると助かります。(0～5歳・身体)
- ・我が家は子どもの通院時、自家用車がない為色々な手段で行ってます(バス、電車、タクシー、自転車)。5才の子供が歩けないので親の負担が大きく大変です。タクシーで行こうとしても、朝なかなかつかまらない…。介護タクシーは非常に高く支給いただいたタクシー券はすぐになくなりそうなので、介護タクシーをほぼ使わず、交通手段の予約を優先的にしてもらえると助かります(事前予約等)。・障害児だけが行ける遊び場(室内)があったらいいと思います。いくつか三鷹市にも支援センター?があるようですが、勇気が出ず、一回も行った事ありません(本当は行ってみたいかったです)。障害児を持つ親は健常児のママの目が怖いです。親も子どもも人目を気にせず、同じ仲間と同じ空間で過ごせることがノンストレスでいられます。私はママ友が一人もいないので、そのような場があれば同じ悩みを持つママと話し情報共有が出来たかもしれないと思いました。(0～5歳・身体,知的)

■施設・居場所

- 市民が利用できる宿泊施設(短期入所施設)があれば大変助かります。(0～5歳・身体,難病)
- 周囲に医療的ケアを必要とするお子さんがいらっしやらないため、親同士との交流の機会があるとありがたいです。(0～5歳・いずれも持っていない)
- 停電時には毎日使用している酸素濃縮機も使えなくなってしまうので、とても高額な蓄電池にも助成金の制度を作ってほしいです。身体が不自由な子供や、あまりたくさん動けない子供でも楽しめるような遊具がある施設や公園があったらいいなと思います。(0～5歳・身体,知的,難病)

E 医療的ケア児・者調査 11. ご意見・ご要望等について

- ・在宅レスパイトの制度を使ったことがあります。外の施設に児を預けるのは不安がありますし、調整に時間がかかりますが、在宅の場合はいつも訪問くださっている方に見守ってもらうので安心でした。ただ、事業所さんでもスタッフに余裕があるわけではなく、頻繁に使えないのが残念です。(6~11歳・身体、難病)
- ・ショートステイがなかなか取れない(半年に1回位)。医ケアがあっても安心して預けられる場所の確保。入所施設、障害や医療的ケアの重度化、みとりを考えると、グループホームでは不安。三鷹市内に入所を作ってほしい。歩道の整備、人見街道では歩道がせまくてバスから降りられないバス停がある。(18~29歳・身体、知的)
- ・日々暮らしやすいよう取り組んでいただきありがとうございます。重傷心身障害児(者)が短期入所できる施設を三鷹市につくっていただきたいです。なぜなら、医療的ケアをする私たち親が何かあったときに預ける先が非常に限られているからです。他市の施設はありますが、定員がいっぱいでなかなか利用できません。主治医からは、さらに遠い東大和市の施設を勧められています。是非、三鷹市が中心となり、重傷心身障害児(者)が短期入所できる施設をつくっていただきたいです。よろしくお願いたします。(6~11歳・身体)

■医療体制

- ・医療ケアを必要とする人のショートステイ先がなさすぎる。(近隣の市区を含め)本人の自立や家族の負担にも大きく影響のある事だと思うのもっと充実させてほしい(18~29歳・身体、知的)
- ・災害時、避難弱者になる可能性が大きい何処に避難すれば医療物品(導尿のカテーテル等の物品)を貰えるのか救急病院等大きい病院に行けば口頭だけで医療物品をもらえるのかその病院まで行けない場合、町病院でも貰えるのかまた、その際に何か証明書を見せないと貰えない、等 何もわからない災害が起きてからだと情報が得にくいので不安(6~11歳・身体、難病)
- ・訪問入浴の利用が事業所の人員の事情で希望の日程に利用出来ない。入浴料の支払いを決められた金融機関しか利用出来ない。ケアしてる親も高齢になってきて医療的ケアの息子を抱えているのでわざわざ金融機関に支払いに行くのが大変です。コンビニや郵便局での支払いが出来るようにしてほしい。口座引き落としでも良いので何とかしてほしい。(30~39歳・身体、知的)
- ・今年の夏は、府中療育センターは、医師不足、もみじの家も定員超過で、ショートステイが利用できなかった人が多くいました。夏休みとても疲れたという声を聞きます。うちも80才の両親に預け、きょうだい児と出かけました。一方小さな自治体で、クリニック内に医療的ケア児のショートステイを始めた所が増えてきました。解決できそうな課題な気がしています。(12~17歳・身体、知的)
- ・介護している人が病気のためや気が減少のため、介護できなくなった時や疲れて休みが必要な場合(レスパイト)、病院でなく自宅でない場所があることがとても必要です。・どんぐり山をぜひ、そのような場所にして下さると安心して自宅介護を続けることができるでしょう(避難場としても)。・避難については、一人で主人を介護しているので、避難することは助けがないとできません。・又、呼吸器を使用している人が安心して入れる避難場をぜひ早急に準備して下さい。病院は災害時は緊急の患者さんでごった返すでしょうから。電源が少しだけでもよいので人手を借りられる安全な場所で避難ができれば、訪問Dr、看護の方々の動きもとりやすくなると思います。家族も介護のため一緒に避難になります。(70~79歳・身体、難病)

■その他

- ・親子二人暮共に障害者不安(70~79歳・不明)
- ・所得による制限をなくしてほしい。(0~5歳・身体)
- ・介護タクシーの補助をだしてほしい。(60~69歳・身体)
- ・名前だけでないインクルーシブ。(0~5歳・身体、知的、難病)
- ・ショートステイ先の充実ロングステイ先の充実(18~29歳・身体、知的)
- ・おむつ、尿とりパット、有料ゴミ袋を毎月支給して頂けるとありがたいです。(80歳以上・身体、難病)
- ・日帰り旅行の為、ストレッチャー対応の介護タクシー、また旅の計画もお願いをして川口湖へ花見に初めて行きました。看護師も同行して頂きました。介護タクシーと看護師の費用が高額の為、安く行く方法はないかと思っています。情報が欲しいと思っています。(60~69歳・身体、難病)
- ・おむつの給付を充実させて頂きたいです。10歳で脳梗塞になり、身体障害者手帳1級の交付を受けており、排尿、排便の意思表示が困難な為紙おむつを使用していますが、以前市役所に申請したい旨お話ししたところ、先天性の障害ではないので該当しないとの事でした。他の市の方に聞いてみると皆さん給付を受けているとの事です。使用頻度の高い物なのでもっと充実させて頂きたいです。(12~17歳・身体)
- ・現在、本人は通常学級の2年生だが、この子との関わりを通して他の児童や先生たちへもよい影響を与えているように感じています。親である私自身も、子どもを通して「いろんな子がいるのが、あたりまえ」ということを身をもって学ぶことができました。市には、障がいのある子もいない子も一緒に学び、遊ぶことが「普通」になるような取組の推進を期待します。それが、ソーシャルインクルージョンの一番の近道ではないかと思っています。(6~11歳・不明)